

東京大学経済学図書館所蔵資料のデジタルデータについて

- (1) この画像データは、東京大学経済学図書館が所蔵する資料のうち、有価証券報告書をデジタル撮影したものです。
- (2) 利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化により、一部、文字の写りが悪いものを含んでいます。また、一部、オンライン公開に適さないと判断し、墨消処理した部分があります。
- (5) この画像データに関する質問等は東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。

有 価 証 券 報 告 書

(証券取引法第24条第1項に基づく報告書)

事業年度 (昭和60年1月1日から
(第62期) 昭和60年12月31日まで)

大 蔵 大 臣 殿

昭和61年3月28日提出

会 社 名 朝 日 麦 酒 株 式 会 社

英 訳 名 ASAHI BREWERIES, LTD.

代表者の役職氏名 代表取締役社長 樋 口 廣 太 郎

本店の所在の場所 東京都中央区京橋三丁目7番1号 電話番号 東京03(567)5111 代表

連絡者 取締役 経営企画部長 岩 城 耕 一 郎

もよりの連絡場所 東京都中央区京橋三丁目7番1号 電話番号 東京03(567)5113 代表

連絡者 取締役 経営企画部長 岩 城 耕 一 郎

有価証券報告書の写しを縦覧に供する場所

名 称	所 在 地
朝日麦酒株式会社 横浜支店	横浜市中区羽衣町2丁目5番の9
朝日麦酒株式会社 名古屋支店	名古屋市中村区名駅四丁目7番35号
朝日麦酒株式会社 大阪支店	大阪市東区北浜2丁目15番地の1
朝日麦酒株式会社 京都支店	京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町614番地
朝日麦酒株式会社 神戸支店	神戸市中央区相生町一丁目2番2号
東京証券取引所	東京都中央区日本橋茅場町二丁目1番1号
大阪証券取引所	大阪市東区北浜2丁目1番地
名古屋証券取引所	名古屋市中区栄三丁目3番17号
京都証券取引所	京都市下京区四条通東洞院東入立売西町66番地

第 1 会 社 の 概 況

1. 会社の設立年月日 昭和24年9月1日

2. 資本金の推移

年 月 日	増 資 額	増 資 後 資 本 金	摘 要
昭和58年12月31日	91,676 千円	11,171,124 千円	転換社債の株式転換(58.1.1~58.4.11)

3. 株式の総数

会社が発行する株式の総数	発行済株式総数
400,000,000 株	223,422,492 株

発行済株式	記名・無記名の別及び額面・無額面の別	種 類	発 行 数	上場証券取引所名	摘 要
	記名式額面株式 券面額 50 円	普通株式	223,422,492 株	東京・大阪・名古屋・京都	東京・大阪・名古屋 市場第一部

4. 株式の状況

(1) 所有者別状況

区 分	株式の状況 (1単位の株式数 1,000株)							単位未満株式の状況
	政府及び地方公共団体	金融機関	証券会社	その他の法人	外国法人等(うち個人)	個人その他	計	
株 主 数	0 人	78	48	758	14 (6)	19,525	20,423	
所有株式数	0 単位	102,202	955	54,991	372 (10)	58,596	217,116	6,306,492 株
割 合	0.00%	47.07	0.44	25.33	0.17 (0.00)	26.99	100	

(注) 自己株式 1,150 株は「個人その他」に 1 単位および「単位未満株式の状況」に 150 株含めて記載してあります。

(2) 所有数別状況

区 分	株 式 の 状 況								単位未満株式の状況
	1,000 単位以上	500 単位以上	100 単位以上	50 単位以上	10 単位以上	5 単位以上	1 単位以上	計	
株 主 数	32 人	13	68	43	883	2,133	17,251	20,423	
割 合	0.16%	0.06	0.33	0.21	4.32	10.45	84.47	100	
所有株式数	138,865 単位	8,001	13,467	2,832	13,265	12,332	28,354	217,116	6,306,492 株
割 合	63.96%	3.69	6.20	1.30	6.11	5.68	13.06	100	

(3) 大株主

氏名又は名称	住 所	所有株式数(イ)	発行済株式総数に対する(イ)の割合
1. 旭化成工業株式会社	東京都千代田区有楽町1-1-2	22,132千株	9.91%
2. 第一生命保険相互会社	東京都千代田区有楽町1-13-1	14,690	6.58
3. 株式会社 住友銀行	大阪市東区北浜5-22	11,065	4.95
4. 住友生命保険相互会社	大阪市北区中之島2-2-5	10,567	4.73
5. 富国生命保険相互会社	東京都千代田区内幸町2-2-2	10,440	4.67
6. 東邦生命保険相互会社	東京都渋谷区渋谷2-15-1	5,500	2.46
7. 住友商事株式会社	大阪市東区北浜5-15	5,380	2.41
8. 東京生命保険相互会社	東京都千代田区内幸町1-5-2	5,000	2.24
9. 日本生命保険相互会社	大阪市東区今橋4-7	4,765	2.13
10. 三井生命保険相互会社	東京都千代田区大手町1-2-3	4,460	2.00
計		93,999	42.07

5. 1株当たり配当等の推移

回 次	第 60 期	第 61 期	第 62 期
決 算 年 月	58年12月	59年12月	60年12月
1株当たり配当額 (1株当たり中間配当額)	5.00円 (2.50)	5.00 (2.50)	5.00 (2.50)
1株当たり当期純利益	5.93円	6.06	6.11
1株当たり純資産額	144.96円	145.96	147.00
配 当 性 向	84.4%	82.5	81.9

(注) 第62期中間配当に関する取締役会決議年月日 昭和60年8月9日

6. 株価及び株式売買高の推移

最近3年間の事業年度別 最高・最低株価	回 次	第 60 期		第 61 期		第 62 期	
	決算年月	58年12月		59年12月		60年12月	
	最 高	343円		393		450	
	最 低	246円		305		359	
当該事業年度中最近6箇 月間の月別最高・最低株 価及び株式売買高	月 別	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月
	最 高	418円	415	450	448	417	405
	最 低	391円	380	384	410	387	385
	売 買 高	1,828千株	1,269	2,644	2,297	1,121	1,035

(注) 株価及び株式売買高は東京証券取引所市場第一部の市場相場、及び株式売買高です。

7. 役員 の 状 況

役 名 及 び 職 名	氏 名 (生年月日及び住所)	略 歴	所有株式数
代表取締役会長	村 井 勉 (大正7年3月31日) [REDACTED]	昭和17年 9月 東京商科大学卒業 17年10月 株式会社住友銀行入行 48年 4月 同行常務取締役 51年 1月 同行取締役 東洋工業株式会社(現マツダ株式会社) 代表取締役副社長 55年 1月 同社代表取締役副社長退任 株式会社住友銀行代表取締役 専務取締役 56年 6月 同行代表取締役副頭取 57年 1月 朝日麦酒株式会社顧問 57年 3月 株式会社住友銀行代表取締役 副頭取退任 57年 3月 朝日麦酒株式会社代表取締役社長 61年 3月 代表取締役会長 (現在に至る)	千株 50
代表取締役社長	樋 口 廣 太 郎 (大正15年1月25日) [REDACTED]	昭和24年 3月 京都大学経済学部卒業 24年 4月 株式会社住友銀行入行 48年11月 同行取締役 50年12月 同行常務取締役 54年12月 同行代表取締役専務取締役 57年 9月 同行代表取締役副頭取 61年 1月 朝日麦酒株式会社顧問 61年 3月 株式会社住友銀行代表取締役 副頭取退任 61年 3月 朝日麦酒株式会社代表取締役社長 (現在に至る)	20
代表取締役副社長	竹 縄 亨 (大正13年2月23日) [REDACTED]	昭和25年 3月 東京大学法学部政治学科卒業 25年 4月 朝日麦酒株式会社入社 49年 2月 取締役 企画部長 51年 2月 常務取締役 55年 3月 常務取締役退任、顧問 朝日共栄株式会社 代表取締役専務取締役 55年10月 同社代表取締役社長 (現在に至る) 57年 3月 朝日麦酒株式会社専務取締役 57年11月 代表取締役専務取締役 61年 3月 代表取締役副社長 (現在に至る)	14
代表取締役副社長	米 山 武 政 (昭和2年8月9日) [REDACTED]	昭和25年 3月 東京大学経済学部商業学科卒業 25年 4月 大蔵省入省 53年 6月 国税庁次長 54年 7月 大蔵省関税局長 55年 8月 日本道路公団理事 58年 2月 朝日麦酒株式会社顧問 58年 3月 専務取締役 59年 3月 代表取締役専務取締役 61年 3月 代表取締役副社長 (現在に至る)	11
代 表 取 締 役 専 務 取 締 役	中 條 高 徳 (昭和2年5月3日) [REDACTED]	昭和27年 3月 学習院大学文政学部政治学科卒業 27年 3月 朝日麦酒株式会社入社 50年 2月 取締役 東京支店長 51年 1月 取締役 大阪支店長 55年 3月 常務取締役 61年 3月 代表取締役専務取締役 (現在に至る)	11

役名及び職名	氏名 (生年月日及び住所)	略歴	所有株式数
代表取締役 専務取締役	福地俊臣 (大正15年1月20日) [REDACTED]	昭和26年3月 北海道大学農学部農芸化学科卒業 26年4月 朝日麦酒株式会社入社 52年3月 取締役 製造部長 55年3月 常務取締役 61年3月 代表取締役専務取締役 (現在に至る)	千株 8
常務取締役	佐武憲二 (昭和2年9月8日) [REDACTED]	昭和25年3月 東京大学農学部農芸化学科卒業 25年4月 朝日麦酒株式会社入社 52年3月 取締役 吹田工場長 54年3月 取締役退任 エビオス薬品工業株式会社 代表取締役専務取締役 55年10月 同社代表取締役社長 57年3月 朝日麦酒株式会社取締役 58年3月 常務取締役 (現在に至る)	18
常務取締役	北條泰一郎 (大正15年5月10日) [REDACTED]	昭和27年3月 慶応義塾大学法学部法律学科卒業 27年3月 新日本硝子株式会社入社 31年10月 朝日麦酒株式会社入社 51年3月 取締役 営業部長 51年10月 取締役 業務部長 56年3月 取締役 総合企画部長 57年2月 取締役 開発部長 57年9月 取締役 本店支配人 59年3月 常務取締役 (現在に至る)	18
取締役	山口信夫 (大正13年12月23日) [REDACTED]	昭和27年3月 東京商科大学卒業 27年4月 旭化成工業株式会社入社 51年6月 同社取締役 53年11月 同社常務取締役 56年6月 同社代表取締役副社長 (現在に至る) 57年3月 朝日麦酒株式会社取締役 (現在に至る)	10
取締役 (営業本部副本部長)	岡義雄 (大正15年4月30日) [REDACTED]	昭和27年3月 東京大学経済学部経済学科卒業 27年4月 朝日麦酒株式会社入社 52年3月 取締役 営業部長 54年10月 取締役 九州支店長 60年8月 取締役 営業本部副本部長 (現在に至る)	8
取締役 (総務部長)	岩村一郎 (昭和2年1月11日) [REDACTED]	昭和27年3月 東京大学経済学部商業学科卒業 27年4月 朝日麦酒株式会社入社 52年3月 取締役 総務部長 (現在に至る)	16
取締役 (食品部長)	夜久亢宥 (昭和3年9月1日) [REDACTED]	昭和26年3月 京都大学農学部農芸化学科卒業 26年4月 朝日麦酒株式会社入社 54年3月 取締役 吹田工場長 58年2月 取締役 食品部長 (現在に至る)	17
取締役 (大阪支店長)	瀬戸雄三 (昭和5年2月25日) [REDACTED]	昭和28年3月 慶応義塾大学法学部法律学科卒業 28年4月 朝日麦酒株式会社入社 54年10月 理事 営業第一部長 56年3月 取締役 営業第一部長 57年9月 取締役 大阪支店長 (現在に至る)	5
取締役 (東京支店長)	小原宏 (昭和5年2月28日) [REDACTED]	昭和28年3月 成蹊大学政経学部卒業 28年3月 朝日麦酒株式会社入社 53年11月 理事 大阪支店副支店長 56年3月 理事 仙台支店長 57年3月 取締役 仙台支店長 57年9月 取締役 東京支店長 (現在に至る)	8

役名及び職名	氏名 (生年月日及び住所)	略歴	所有株式数
取締役 (営業本部副本部長 兼マーケティング部長)	佐野主税 (昭和5年5月1日) [REDACTED]	昭和28年3月 慶応義塾大学法学部法律学科卒業 28年3月 朝日麦酒株式会社入社 53年3月 理事 東京支店副支店長 56年3月 理事 業務部長 57年1月 理事 営業企画部長 57年3月 取締役 営業企画部長 57年9月 取締役 営業部長 59年8月 取締役 営業本部副本部長 兼マーケティング部長 (現在に至る)	千株 6
取締役 (静岡支店長)	一言善三郎 (昭和4年10月14日) [REDACTED]	昭和28年3月 東京大学経済学部商業学科卒業 28年4月 朝日麦酒株式会社入社 55年10月 理事 企画部長 57年2月 理事 広報部長 58年3月 取締役 広報部長 60年2月 取締役 静岡支店長 (現在に至る)	17
取締役 (生産統括部長)	小宮雄次郎 (昭和6年10月21日) [REDACTED]	昭和29年3月 京都大学農学部農芸化学科卒業 29年4月 朝日麦酒株式会社入社 54年3月 理事 西宮工場長 57年2月 理事 製造部長 59年3月 取締役 製造部長 59年8月 取締役 生産統括部副部長 61年2月 取締役 生産統括部長 (現在に至る)	20
取締役 (仙台支店長)	藤井信三郎 (昭和4年5月10日) [REDACTED]	昭和27年3月 慶応義塾大学法学部政治学科卒業 27年3月 朝日麦酒株式会社入社 52年10月 理事 東京第二支店長 57年1月 理事 流通政策室長 57年9月 理事 仙台支店長 60年3月 取締役 仙台支店長 (現在に至る)	5
取締役 (吹田工場長 兼大阪工場長)	入江次郎 (大正14年1月7日) [REDACTED]	昭和23年3月 京都大学工学部化学機械学科卒業 23年4月 大日本ビタミン製薬株式会社入社 24年9月 朝日麦酒株式会社入社 54年3月 理事 博多工場長 57年2月 理事 西宮工場長 58年2月 理事 吹田工場長 60年3月 取締役 吹田工場長 60年9月 取締役 吹田工場長兼大阪工場長 (現在に至る)	8
取締役 (九州支店長)	藤澤博恭 (昭和6年12月14日) [REDACTED]	昭和29年3月 早稲田大学第一政治経済学部 経済学科卒業 29年3月 朝日麦酒株式会社入社 54年10月 理事 営業第二部長 57年1月 理事 関東支店長 60年3月 取締役 関東支店長 60年8月 取締役 九州支店長 (現在に至る)	8
取締役 (経営企画部長)	岩城耕一郎 (昭和13年4月6日) [REDACTED]	昭和37年3月 東京大学経済学部卒業 37年4月 株式会社住友銀行入行 54年12月 同行 豊橋支店長 57年1月 同行 融資企画部長 58年5月 朝日麦酒株式会社理事 社長室長 59年8月 理事 経営企画部長 60年3月 取締役 経営企画部長 (現在に至る)	3

役名及び職名	氏名 (生年月日及び住所)	略歴	所有株式数
取締役 (営業本部長付)	松分光朗 (昭和3年6月6日) [REDACTED]	昭和26年3月 早稲田大学政治経済学部卒業 26年2月 朝日麦酒株式会社入社 46年10月 四国支店長 48年11月 名古屋朝日運送株式会社代表取締役 50年10月 大阪朝日運送株式会社代表取締役 51年10月 当社営業本部顧問 52年10月 株式会社マスタ代表取締役 61年3月 同社代表取締役辞任 61年3月 当社取締役営業本部長付 (現在に至る)	千株 3
取締役 (物流部長)	斎藤忠美 (昭和2年9月26日) [REDACTED]	昭和26年3月 東京大学経済学部卒業 26年4月 朝日麦酒株式会社入社 47年10月 大阪支店副支店長 50年10月 名古屋朝日運送株式会社代表取締役 52年10月 株式会社ニューアサヒ常務取締役 55年10月 同社専務取締役 59年3月 当社理事 物流管理部長 60年8月 理事 物流部長 61年3月 取締役 物流部長 (現在に至る)	8
取締役 (京都支店長)	新實善造 (昭和4年8月24日) [REDACTED]	昭和28年3月 愛知大学法経学部卒業 28年3月 朝日麦酒株式会社入社 54年10月 神戸支店長 56年3月 理事 神戸支店長 59年8月 理事 京都支店長 61年3月 取締役 京都支店長 (現在に至る)	6
取締役 (名古屋支店長)	木村光明 (昭和6年7月23日) [REDACTED]	昭和29年3月 慶応義塾大学経済学部卒業 29年3月 朝日麦酒株式会社入社 54年10月 静岡支店長 56年3月 理事 静岡支店長 57年9月 理事 名古屋支店長 61年3月 取締役 名古屋支店長 (現在に至る)	12
常勤監査役	池田文二 (大正8年12月11日) [REDACTED]	昭和15年3月 山口高等商業学校卒業 15年4月 大日本麦酒株式会社入社 45年2月 朝日麦酒株式会社常務取締役 51年2月 専務取締役 55年3月 監査役 57年3月 常勤監査役 (現在に至る)	20
常勤監査役	中小路茂次 (昭和2年6月2日) [REDACTED]	昭和25年3月 北海道大学農学部農芸化学科卒業 25年4月 朝日麦酒株式会社入社 49年2月 取締役 製造部長 51年2月 常務取締役 55年3月 代表取締役専務取締役 60年3月 常勤監査役 (現在に至る)	17
常勤監査役	佐々木欽也 (大正14年5月31日) [REDACTED]	昭和24年3月 日本大学法文学部卒業 24年4月 大日本麦酒株式会社入社 48年2月 取締役 営業部長 48年11月 取締役 大阪支店長 51年2月 常務取締役 60年3月 常勤監査役 (現在に至る)	19

役名及び職名	氏名 (生年月日及び住所)	略歴	所有株式数
監査役	山本 孝 (明治41年11月14日) [REDACTED]	昭和6年3月 東京帝国大学経済学部卒業 6年4月 株式会社住友銀行入行 38年10月 同行常務取締役 43年5月 同行常務取締役退任 43年5月 株式会社新大阪ホテル(現株式会社ロイヤルホテル)代表取締役副社長 44年2月 朝日麦酒株式会社取締役 48年3月 株式会社新大阪ホテル 代表取締役社長 60年6月 株式会社ロイヤルホテル 代表取締役会長 (現在に至る) 52年3月 朝日麦酒株式会社監査役 (現在に至る)	千株 125
計	25名		491千株

会社と役員等との重要な取引

氏名	取引の内容	金額	備考
村井 勉	北海道朝日麦酒株式会社との営業取引 ※1	1,709 百万円	北海道朝日麦酒株式会社 代表取締役社長
	北海道朝日麦酒株式会社への貸付金 ※2	2,079	
	北海道朝日麦酒株式会社の金融機関からの 借入金に対する保証	2,438	
北條 泰一郎	北海道朝日麦酒株式会社との営業取引 ※1	1,709 百万円	北海道朝日麦酒株式会社 代表取締役副社長
	北海道朝日麦酒株式会社への貸付金 ※2	2,079	
	北海道朝日麦酒株式会社の金融機関からの 借入金に対する保証	2,438	

※1 主な営業取引の内容

北海道朝日麦酒株式会社が、製造設備を所有していない酒類、飲料を同社に販売しております。

※2 北海道朝日麦酒株式会社に対し、設備資金及び運転資金として貸付しているものです。

8. 従業員の状況

(1) 従業員数、平均年令、平均勤続年数および平均給与月額

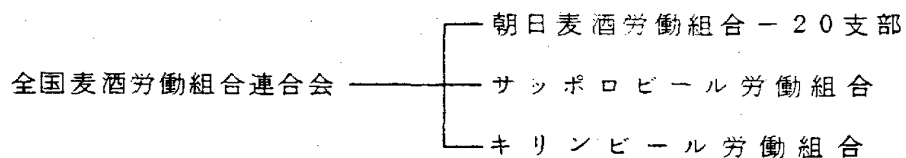
(昭和60年12月31日現在)

男 女 別	人 数	平 均 年 令	平 均 勤 続 年 数	平 均 給 与 月 額
男	2,416 人	42.5 才	20.7 年	342,147 円
女	256	31.5	10.5	193,765
計または平均	2,672	41.4	19.7	327,733

- (注) 1. 平均給与月額(税込)は基準内賃金及び基準外賃金(賞与を除く)の合計額とし60年1月から60年12月迄の月平均によるものです。
2. 上記の他に嘱託43人(男20人、女23人)が在籍しています。
 なお、本年度より上記の従業員数に理事を含めております。
3. 臨時従業員の期中平均雇用人数は266人(男47人、女219人)です。

(2) 労働組合の状況

イ. 組 織



ロ. 労働組合との関係

特記すべき事項はありません。

第 2 事 業 の 概 況

1. 会社の目的及び事業の内容

(1) 会社の目的

1. ビールその他の酒類の製造、販売
2. 清涼飲料その他の飲料の製造、販売
3. 医薬品、医薬部外品、検査用試薬、医療用具、動物用医薬品および化粧品の製造、販売
4. 微生物利用製品並びに酵素剤を含む生物化学利用製品の製造、販売
5. 食品および食品添加物の製造、販売
6. 肥料および飼料の製造、販売
7. 不動産の売買、貸借、管理運営、開発、利用および山林の経営
8. 前各号に付帯または関連する一切の事業

(注) 上記 3.に掲げた項目のうち医薬部外品、検査用試薬、医療用具および化粧品の製造、販売並びに上記 6.に掲げた項目のうち肥料の製造、販売は現在行っておりません。

(2) 事業の内容

主たる業務

当社の主たる業務は、酒類・飲料・食品および薬品の製造ならびに販売です。

なお、当社は、北海道朝日麦酒株式会社に対し、アサヒビール、三ツ矢サイダー、バヤリースオレンジ商標等の北海道地域における使用許諾およびこれに伴う技術指導を行っています。

主要製品の製造工程概略

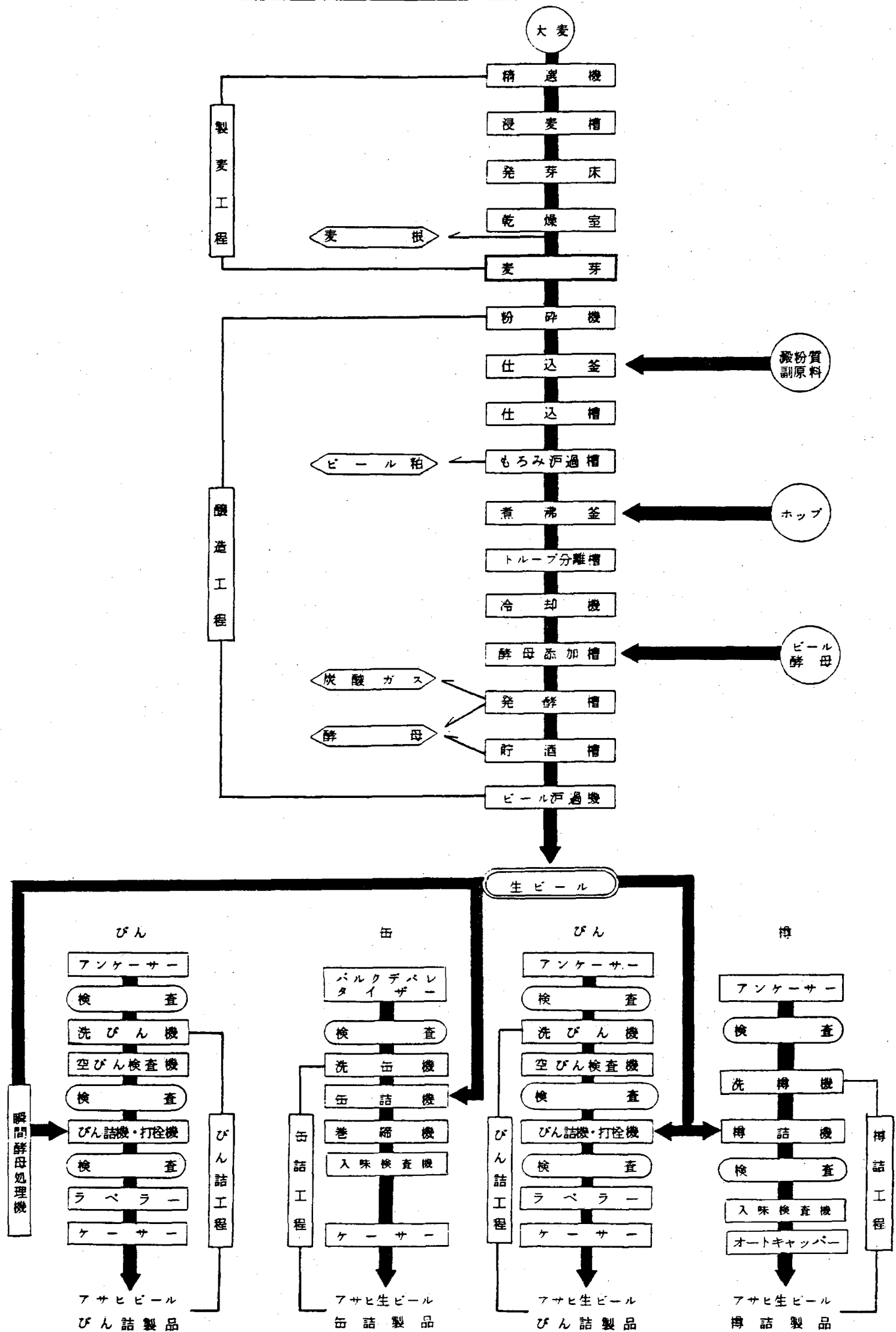
主要製品の製造工程概略および関連図は別表表示のとおりです。

製品の特質

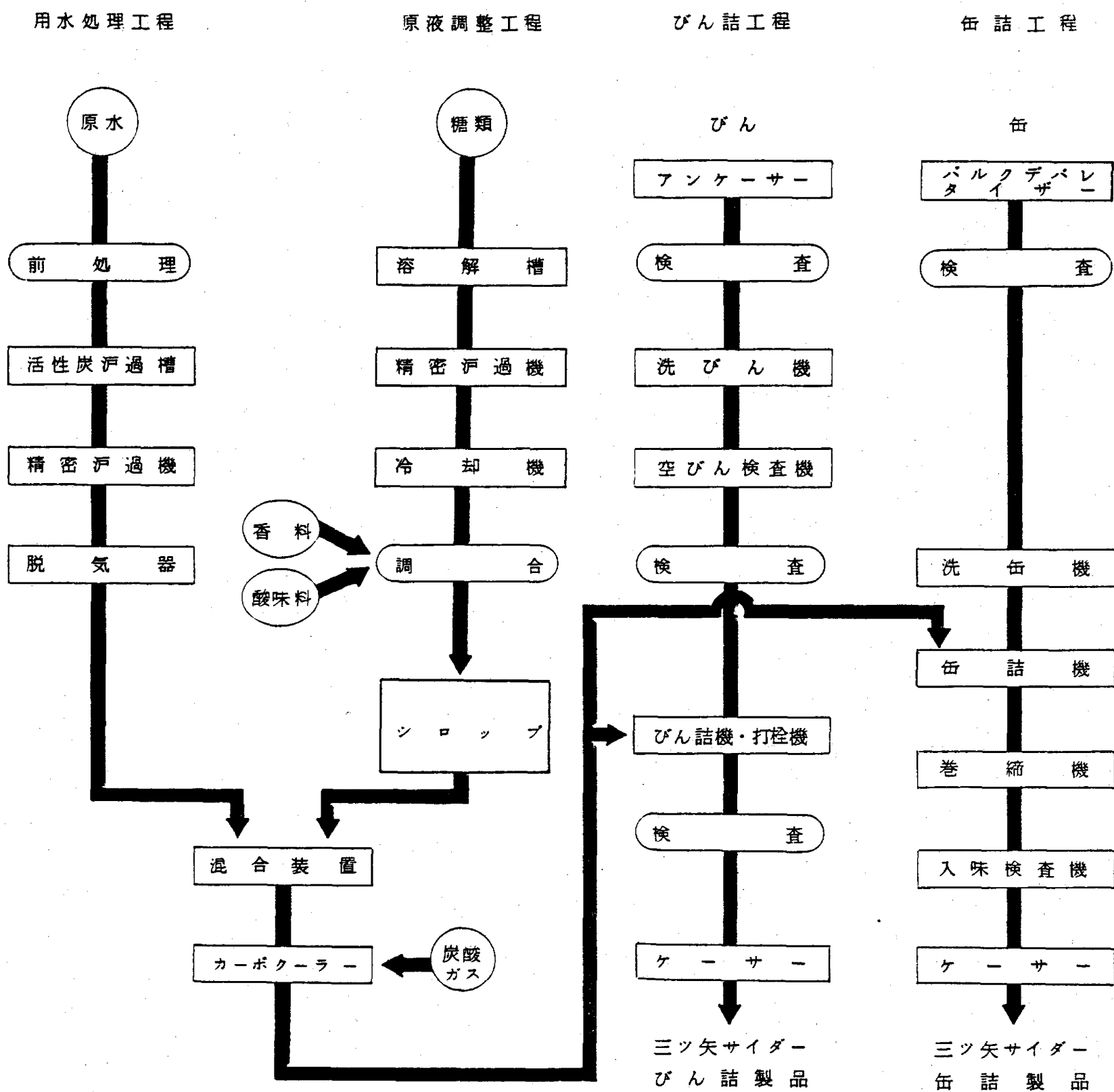
製 品 名			製 品 の 特 質	形 状	部門別の販売金額によるウエイト
酒 類	ビ ー ル	アサヒ生ビール	主原料として麦芽およびホップを、副原料として米、コーングリッツ、コーンスターチを使用したドイツ式下面発酵法によるビルゼン型淡色ビールであり、熱処理をしないビールです。	びん詰品 缶詰品 樽詰品	77.60%
		アサヒビール	主原料として麦芽およびホップを、副原料として米、コーングリッツ、コーンスターチを使用したドイツ式下面発酵法によるビルゼン型淡色ビールであり、熱処理をしたビールです。	びん詰品	
		アサヒ 黒 生 ビ ー ル	淡色麦芽の他にミュンヘン麦芽・カラメル麦芽・黒麦芽を使用したミュンヘン型濃色ビールであり、熱処理をしないビールです。	びん詰品 缶詰品 樽詰品	
		アサヒブラック	淡色麦芽の他にミュンヘン麦芽・カラメル麦芽・黒麦芽を使用したミュンヘン型濃色ビールであり、熱処理をしたビールです。	びん詰品	
		アサヒスタウト	上面発酵酵母を使用して醸造したアルコール含量が高く、香味に特色をもたせた英国式濃色ビールです。	びん詰品	

製 品 名		製 品 の 特 質	形 状	部門別の販売金額によるウエイト
酒 類	ビール	主原料としてヨーロッパ産の麦芽およびホップを使用し、副原料は全く使用せずに西独レーベンプロイ社の処方に従って醸造した下面発酵によるビールであり、熱処理をしない生ビールです。	びん詰品 缶詰品 樽詰品	
	（発泡酒） その他の酒類	ライトカクテル ビー	麦芽、ホップ、米、コーングリッツ、コーンスターチ、糖類、天然着色料、酸味料、香料を原料とし、ビールの爽やかさとフルーツの風味をミックスした発泡酒です。	
	（甘味果実酒） その他の酒類	シーサイド クーラー	ワイン、果汁、香料、ぶどう糖果糖液糖、酸味料、炭酸ガスなどを原料とした甘味果実酒です。	
飲 料	三ツ矢サイダー	糖類（果糖ぶどう糖液糖、砂糖）、香料（当社独自の香料を配合）酸味料を原料とした炭酸飲料です。	びん詰品 缶詰品	20.99%
	バヤリース オレンジ	果汁、ぶどう糖果糖液糖、香料、酸味料、着色料、ビタミンCを原料とした果汁入り清涼飲料です。	びん詰品 缶詰品	
	三ツ矢コーヒー	砂糖、コーヒー、全粉乳、脱脂粉乳、香料を原料としたコーヒー飲料です。	缶詰品	
	ウキルキンソン タンサン	兵庫県六甲山系の天然鉱泉水による炭酸水です。	びん詰品 缶詰品	
	ブリッブス	砂糖、粉末コーンシロップ、酸味料、香料の他、スウェーデン・ブリッブス社が独自に開発した電解質を含有するスポーツ飲料です。	びん詰品 缶詰品 紙パック詰品	
	ジュウェップス	糖類（果糖ぶどう糖液糖、砂糖）、果汁、酸味料、香料、着色料を原料とした、英国ジュウェップス社とのライセンス契約による果汁入炭酸飲料（フレーバリング）です。	びん詰品 缶詰品	
	ウーロン茶	中国福建省産の原料茶を使用した清涼飲料水です。	缶詰品	
	紅茶	砂糖、ぶどう糖果糖液糖、麦芽糖、紅茶、香料、加糖練乳、酸味料を原料とした紅茶飲料です。	缶詰品	
食 品 ・ 薬 品	エビオス	乾燥ビール酵母を原料としており、ビタミンB群、アミノ酸、ミネラルを含み栄養障害、栄養補給、妊産婦・授乳婦・虚弱体質者の栄養補給、胃腸疾患（食欲不振、消化不良、飲みすぎ、胸やけ、胃弱）に効果をあらわす薬品です。なお、本品の散剤は乾燥酵母という名称で日本薬局方に収載されています。	錠 粉 剤 末	1.41%
	ミースト （酵母エキス）	酵母エキスを主体とする調味料であり、アミノ酸、ペプチド、核酸関連成分などを含み、呈味成分と旨味成分を含有しています。		
	天然調味料 （ビーフエキス ポークエキス チキンエキス）	牛、豚、鶏の肉および骨を原料として抽出したエキスを主体とした天然調味料です。		

アサヒビールの製造工程概略及び関連図



三ツ矢サイダーの製造工程概略及び関連図



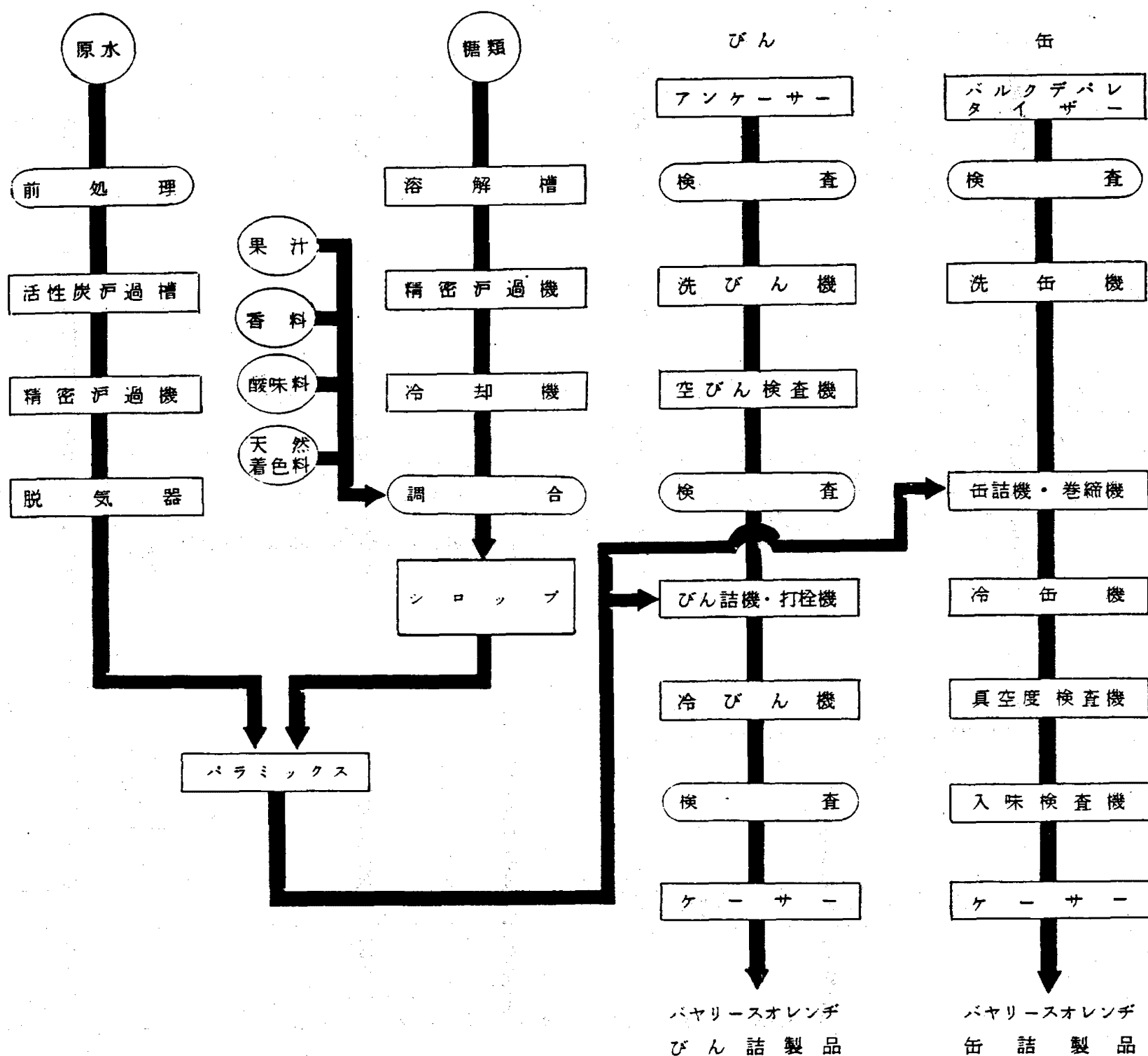
果実飲料の製造工程概略及び関連図

用水処理工程

原液調製工程

びん詰工程

缶詰工程



(3) 事業内容の変更等

特記すべき事項はありません。

2. 経営上の重要な契約

(1) 業務提携等に関する契約

契 約 事 項	契 約 締 結 先	締 結 年 月	発 効 年 月	有 効 期 限
レーベンプロイビールのライセンス生産契約	西 独 レーベンプロイ社	昭和57年11月	昭和57年12月	規定なし
スポーツ飲料プリップスのライセンス生産契約	旭フーズ株式会社	昭和58年 4月	昭和58年 4月	規定なし
自社ブランドワイン「マイセラー」生産のための業務提携契約	オーストラリア リンデマン社	昭和58年 3月	昭和58年 3月	規定なし
「シュウェップス」ブランドの清涼飲料のライセンス生産契約	英 国 シュウェップス・インターナショナル社	昭和58年10月	昭和58年11月	規定なし

(2) 資産譲渡に関する契約

契 約 事 項	契 約 締 結 先	締 結 年 月 日
旧東京工場用地の譲渡契約	東京都大田区	昭和60年7月31日

(注) この契約に関する事項は、「固定資産の売却、撤去又は滅失」(25ページ)に記載してあります。

第 3 営 業 の 状 況

1. 概 況

(1) 営業の経過および成果

当期のわが国経済は、前半は個人消費が盛り上りを欠いたものの、輸出と設備投資が増加傾向を辿り、景気の拡大基調が継続しました。しかし、夏ごろを境に輸出の増勢が鈍化し円高も加わり、この拡大基調も転換点を迎え、景気は減速局面に入ったものと思われます。

ビール業界は、前半は前年の増税値上げの影響もあり需要は減退傾向で推移しましたが、後半に入り7月、8月の好天をきっかけとして需要が急速に回復し、年間では前年比若干の増加になったものと思われます。これは各社の新商品発売を始めとする積極的なマーケティング活動の成果であると同時に、ビールが手頃で健康的な飲料であることが見直されつつある結果と思われます。

飲料業界は、消費者嗜好の多様化に応じ、多数の新商品発売や他業種からの新規参入が続くなど厳しい環境下にあります。その中で、梅雨時の低温、長雨にもかかわらず、7月、8月の猛暑に支えられ年間の総需要は前年比若干の増加になったものと思われます。

このような状況のもとで、当社は需要の変化に対応して各種新商品の発売を行うなど積極的、かつ、きめ細かな営業活動を展開してまいりました。

当期の売上高はライトカクテルBeや飲料の売上増が寄与して236,383百万円（前期比12,017百万円、5.4%増）となりました。

一方、利益面では、積極的な営業活動による販売促進費の増加や運搬費等の増加があったものの、売上高増加による利益増と金融収支の改善により、経常利益は3,270百万円（前期比423百万円、14.9%増）、当期利益は1,364百万円（前期比9百万円、0.7%増）となりました。

各部門別の状況は次のとおりであります。

（酒 類 部 門）

<ビール>

「アサヒビール」につきましては、従来推進してきました生化路線、缶化路線を更に進めるべく商品開発と営業活動を展開してまいりました。新商品としては「生とっくり1ℓ、3ℓ」、「つの樽2ℓ」をミニ樽系列に加えて品揃えの強化を図るとともに、缶ビールについては赤・黄・緑の三色を大胆に取り入れた南国調の「ラスト缶シリーズ」を発売しました。これらはいずれも生化、缶化の路線であるとともに、最近の消費者のテイクアウト型購買傾向に対応したものであります。また、「レーベンプロイ」につきましては着実に売上を伸ばしております。

その結果、ビールの売上は、前半は前年の増税による割高感が未だ払拭されず苦戦を強いられましたが、最盛期の好天を契機に需要が急速に回復し、特に9月以降は連続して大幅増加を実現しました。しかしながら、前半の不振に災いされ、当期の売上高は前期比2.0%増の178,550百万円に止まりました。

<ワイン>

ワインにつきましては、当社は従来から本物志向の考え方からヨーロッパの厳選された優良ブランドを輸入し、かつ、オーストラリアに自社ブランドワインを求めてあくまで品質を重視した事業拡大に努めてまいりました。しかしながら、7月末に突如発生した汚染問題による業界全体の深刻な打撃を当社も受けたため、当期の売上高は前期比24.6%減の1,065百万円となりました。

<その他の酒類>

当期は前年発売しました「ライトカクテルBe」、「Hi倶楽部」及び「樽ハイ倶楽部」の全国展開を行い、また、ウィンクラー「シーサイドクーラー」を発売するなど酒類事業の多角化を図ってまいりました。

その結果、当期のその他の酒類の売上高は、前期比 219.3 % 増の 4,281 百万円となりました。

(飲料部門)

<炭酸飲料>

「三ツ矢」につきましては、新発売の「三ツ矢サイダー 1.5 L」が極めて好調な売行きを示すなどワンウェイ商品が大きく伸長しました。しかし、リターナブル商品が業界全体の減少傾向の影響を強く受けたため、売上数量は若干の減少となりました。

「ウキルキンソン」は、焼酎ブームなどにより昭和 58 年、59 年と大きく増加しましたが、ブームの沈静化により前期を下回る結果となりました。

英国の名門企業シュウェップス社との技術提携による「シュウェップス」は 3 月から全国発売を行い、アダルト感覚の新しい高級飲料として定着し、当社飲料の第 3 の柱となりつつあります。

以上の結果、当期の売上高は前期比 0.9 % 増の 28,935 百万円となりました。

<果実飲料>

「バヤリース」につきましては、昭和 57 年以来順調な伸びを示してきましたが、当期は大型 PET 容器を中心にワンウェイ商品が爆発的な売行きとなりました。また、「バヤリースチルド 30 %」及び「バヤリース LL 100 %」も好評を博し、前期比約 4 倍の売上を達成しました。これは、果実飲料のパイオニアであります「バヤリース」が一流ブランドとして広く消費者に支持された結果と思われます。

以上の結果、当期の売上高は前期比 40.6 % 増の 16,466 百万円となりました。

<その他の飲料>

スポーツ飲料「プリップス」、「三ツ矢コーヒー」、「缶入りウーロン茶」は販売体制の強化により、それぞれ業界平均を大きく上回る順調な売行きであります。10 月に新発売した「缶入り紅茶」2 品種も好調な出足を見せており、その他の飲料の当期売上高は前期比 34.1 % 増の 3,783 百万円となりました。

以上の結果、飲料部門全体の当期の売上高は前期比 13.8 % 増の 49,186 百万円となりました。

(食品・薬品等部門)

食品部門につきましては、酵母調味料を始め天然調味料、酵母・酵素等いずれも順調に推移しました。その他の食品としては「調理焼そば」に引き続き、「調理焼うどん」、「調理スパゲティー」及び「中華風白がゆ」も発売しました。

薬品部門では、厳しい薬品業界の状況下で主力商品「エビオス」は前期並の売上高を維持し、ビール酵母を配合した乳酸菌製剤「新ラクトーン」も売行き好調でありました。しかしながら、健康食品は業界低迷の影響を受けて不振に終わりました。

以上の結果、食品・薬品等部門の当期の売上高は前期比 1.3 % 減の 3,300 百万円となりました。

(2) 今後の見通し

本年の景気動向は、輸出と設備投資の伸びが鈍化し、個人消費も盛り上りを欠いて調整局面に入るものと思われ、先行き予断を許さない状況にあります。

酒類業界におきましては、昨夏ごろからビールを始めとする主要酒類に復調の兆しがみられますが、酒類消費構造の変化はなお不透明であり、また、ビール販売競争は引き続き激化するものと思われれます。飲料業界におきましても、多様化の進展は著しく市場の競争は一層厳しくなるものと考えられます。

こうした中において、当社は 3 年後に迎える創業 100 周年に向けて CI を導入し、これを「ニューセンチュリー計画」と名づけて展開してまいります。「ニューセンチュリー計画」は酒類・飲料・食品・薬品の 4 事業分野を通じて健康で豊かな生活文化の向上に役立つ企業を目指すとともに、当社企業イメージの一層の向上を目指すものであります。具体的には、経営理念に示す「消費者の心をわが心とする消費者志向」、「常に品質の向上と技術の研さんに努める品質志向」を基本として経営活動を積極的に展開し、その成果を広く消費者にご理解をいただき当社にご支援を賜わろうとするもの

であります。

先ず、ビールにつきましては、消費者の健康志向、本物志向に鑑みまして、ビールが低アルコールの健康飲料であること並びにビール特有の明るい、楽しいイメージを一層強く訴求して需要拡大に努めていきたいと考えます。ビールの中味はよりコクがあり、さわやかなキレ味のよいものにリファインし、ビール本来の旨さをきわだたせるとともに、パッケージにつきましても一新を図り、これを契機に消費者に新しいアサヒの考え方と行動をアピールします。このため、広告活動も従来に増してきめ細く行う考えであります。営業活動も従来から進めてまいりました生化、缶化の路線を推進するとともに、昨今の消費者のテイクアウト型購買傾向の進展にも対応するべく販売拠点の拡充に努めます。

ワインにつきましては、昨夏来業界の受けた打撃から早く脱却して、自社ブランドワイン「マイセラー」や当社輸入ワインに対する消費者の厚い信頼を背景に売上増に努力いたします。

その他の酒類につきましては、長期的観点に立ってビールやワインに並ぶ酒類部門の柱として育成するべく粘り強く取り組んでまいります。

飲料部門では「三ツ矢」、「バヤリース」、「シュウェップス」、「ウキルキンソン」を軸にして、伸長著しい「プリップス」、「三ツ矢コーヒー」、「ウーロン茶」についても積極的な営業活動を行い、増勢に更にはずみをつけるよう努めます。

食品部門では多様な消費者のニーズに応えた商品開発を継続し品揃えを充実させ、薬品部門ではビール酵母を中心とした商品開発を進めるとともに、研究開発活動を積極的に推進することにより両部門の充実を図り、当社の第3、第4の柱としてふさわしい事業規模に育成してまいります。

当社をとり巻く環境は、なお厳しいものがありますが、「ニューセンチュリー計画」を礎として業績向上に努めてまいり所存であります。

2. 生産能力

製品名	設備能力（年間）の推移		設備能力の算定方法等
	昭和59年12月	昭和60年12月	
酒 類	581,400 <i>kl</i>	510,000 <i>kl</i>	(貯酒槽容量) × (年間平均回転率) その他仕込・びん詰能力等総合判定し算定
飲 料	342,960 <i>kl</i>	342,960 <i>kl</i>	(詰能力) × (年間稼働日数) により算定
食品・薬品	3,200 百万円	3,300 百万円	昭和59年12月は、昭和59年 年間の生産計画 昭和60年12月は、昭和60年 年間の生産計画

(注) 食品・薬品については、それぞれ品質、形状を異にしているため、生産能力の算定は極めて困難であり、生産能力に代えて年間の生産計画を表示しました。また、生産計画金額は、販売見込価格で算定しています。

3. 生産実績

製品名	第61期 (昭和59年 1月 1日から 昭和59年12月31日まで)			第62期 (昭和60年 1月 1日から 昭和60年12月31日まで)		
	合 計	月 平 均	操 業 度	合 計	月 平 均	操 業 度
酒 類	447,212 <i>kl</i>	37,268 <i>kl</i>	77%	450,014 <i>kl</i>	37,501 <i>kl</i>	88%
飲 料	175,214 <i>kl</i>	14,601 <i>kl</i>	51%	193,115 <i>kl</i>	16,093 <i>kl</i>	56%
食品・薬品	2,892 百万円	241 百万円	90%	2,825 百万円	235 百万円	86%

(注) 飲料については、上記のほかに製造委託による生産実績が、第61期44,607 *kl*、第62期60,147 *kl*あります。

主要原材料の入手量、使用量及び期末在庫量

製品名	原材料品名：単位	第 61 期 (昭和59年1月1日から昭和59年12月31日まで)			第 62 期 (昭和60年1月1日から昭和60年12月31日まで)		
		入手量	使用量	期末在庫量	入手量	使用量	期末在庫量
酒 類 ・ 飲 料	大 麦	Kg	15,006,375	12,179,675	10,859,600	11,507,230	13,865,700
	麦 芽	Kg	50,529,880	48,324,669	18,314,367	47,999,935	48,274,720
	コーンスターチ	Kg	10,076,030	10,387,595	127,275	10,382,142	10,345,697
	コーングリッツ	Kg	6,818,475	7,030,185	127,295	7,213,733	7,212,038
	米	Kg	293,190	366,400	56,225	230,055	245,730
	ホ ッ プ	Kg	549,296	596,492	857,135	606,237	634,381
	ビ ー ル	千本	503,700	502,636	60,161	501,679	499,234
	ビ ー ル	千個	505,129	492,275	38,675	463,167	477,264
	砂糖・液糖	Kg	25,018,404	25,088,904	252,037	26,494,054	26,519,012
	香料	ℓ	281,064	275,790	27,649	306,705	302,979
	オレンジ果汁	Kg	945,031	971,056	191,030	1,608,587	1,402,627
	ク エ ン 酸	Kg	261,200	256,915	15,136	280,428	281,776
飲 料	炭 酸 ガ ス	Kg	2,073,493	2,071,401	76,780	2,298,129	2,293,047
	サイダーびん	千本	262,793	261,221	156,537	226,811	242,801
	サイダー王冠	千個	257,032	260,868	27,390	227,514	233,337

主要原材料価格の推移

原材料名	単位	価 格	改定時期	原材料名	単位	価 格	改定時期								
国 産 大 麦	ton	213,870 円 204,290	昭和59年 7月 昭和60年 7月	コーングリッツ	ton	83,000 円 78,200 78,000 77,000 75,840 79,610 79,940 80,740	昭和59年 1月 4月 7月 10月 昭和60年 1月 4月 7月 10月								
輸 入 麦 芽	ton	98,380 円 91,120 96,880 95,400 99,693 95,463 92,466 82,299	昭和59年 1月 4月 7月 10月 昭和60年 1月 4月 7月 10月			米	ton	85,000 円 99,000 119,000 115,000 212,000 253,000 118,500 73,710	昭和59年 1月 4月 7月 10月 昭和60年 1月 4月 7月 10月						
		国 産 ホ ッ プ	Kg					2,515 円 2,587	昭和59年 8月 昭和60年 8月	砂 糖 (グラニュー糖)	Kg	220 円 220 216 210 210 209 209 207	昭和59年 1月 4月 7月 10月 昭和60年 1月 4月 7月 10月		
		輸 入 ホ ッ プ	Kg					876 円 1,042	昭和59年 4月 昭和60年 4月			濃 縮 果 汁	Kg	455 円 592	昭和59年 8月 昭和60年 8月
		コーンスターチ	ton					93,600 円 89,700 90,000 89,300 87,900 92,090 92,500 92,640	昭和59年 1月 4月 7月 10月 昭和60年 1月 4月 7月 10月						

(注) 価格は購入価格を示し、国産大麦、輸入麦芽及び
ホップについては運賃等諸経費を含んでいます。

4. 受注状況と生産計画

受注状況 当社では受注生産はほとんど行っておりません。

生 産 計 画

製 品 名	昭和61年1月から3月まで	昭和61年4月から6月まで	合 計
酒 類	72,000 kl	154,000 kl	226,000 kl
飲 料	53,000 kl	70,000 kl	123,000 kl
食 品 ・ 薬 品	671 百万円	816 百万円	1,487 百万円

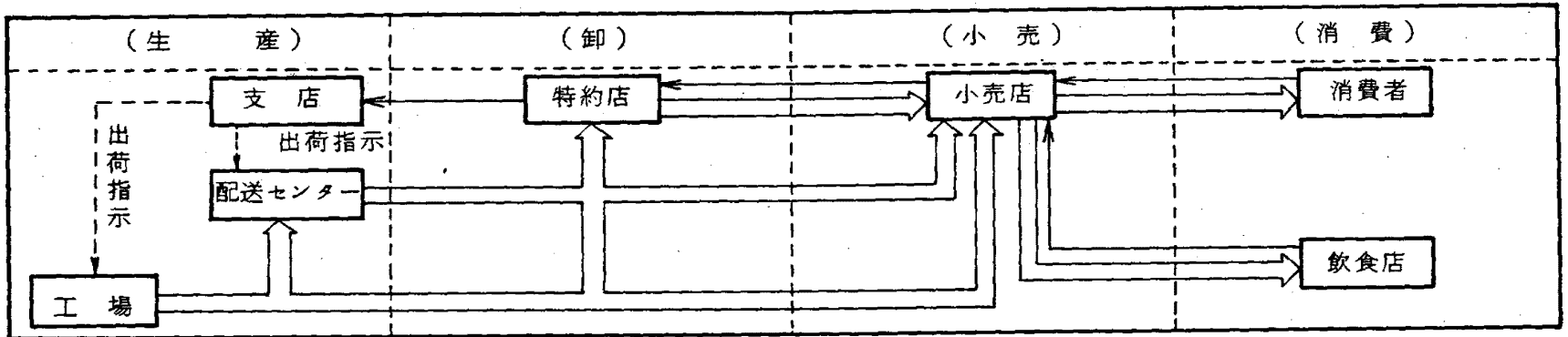
(注) 飲料については、上記の他に、昭和61年1月から3月までに14,000 kl、昭和61年4月から6月までに21,000 kl、合計35,000 kl、製造委託による生産を計画しています。

5. 販売実績

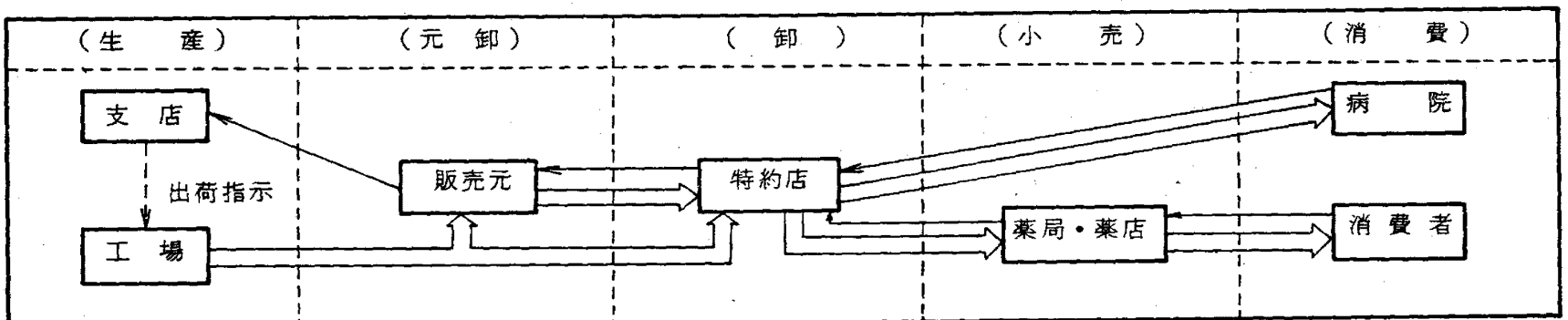
(1) 販売経路 製品によっては多少経路が異なる場合がありますが、原則として下記経路により販売しています。

(注) ← 商流経路(受注と代金回収) → 物流経路(配送)

酒類・飲料



薬品



(2) 販売実績

区 分			第 6 1 期 (昭 和 5 9 年 1 月 1 日 から) 昭 和 5 9 年 1 2 月 3 1 日 ま で		第 6 2 期 (昭 和 6 0 年 1 月 1 日 から) 昭 和 6 0 年 1 2 月 3 1 日 ま で	
			数 量	金 額	数 量	金 額
酒 類	ビ ー ル	計	4 4 4.8 4 3 kl	1 7 5.0 4 6 百万円	4 4 3.7 6 1 kl	1 7 8.5 5 0 百万円
		月平均	3 7.0 7 0 kl	1 4.5 8 7 百万円	3 6.9 8 0 kl	1 4.8 7 9 百万円
	ワ イ ン	計	1.2 0 7 kl	1.4 1 2 百万円	8 7 2 kl	1.0 6 5 百万円
		月平均	1 0 1 kl	1 1 7 百万円	7 3 kl	8 8 百万円
	その他の酒類	計	3.0 5 6 kl	1.3 4 1 百万円	1 0.4 1 5 kl	4.2 8 1 百万円
		月平均	2 5 5 kl	1 1 1 百万円	8 6 8 kl	3 5 6 百万円
飲 料		計	2 2 2.0 0 2 kl	4 3.2 2 3 百万円	2 5 5.7 7 2 kl	4 9.1 8 6 百万円
		月平均	1 8.5 0 0 kl	3.6 0 1 百万円	2 1.3 1 4 kl	4.0 9 8 百万円
食 品 ・ 薬 品 等		計	—	3.3 4 3 百万円	—	3.3 0 0 百万円
		月平均	—	2 7 8 百万円	—	2 7 5 百万円
合 計 金 額		計		2 2 4.3 6 6 百万円		2 3 6.3 8 3 百万円
		月平均		1 8.6 9 7 百万円		1 9.6 9 8 百万円

(注) 1. 金額は、製造者販売価格(酒税、物品税込)によっています。

2. 飲料の販売実績は、製造委託により生産した製品が含まれています。

3. 食品・薬品等については、品質、形状、包装等が多岐にわたっていて、数量の表示は困難であり記載を省略しました。

主要製品の最近の製造者販売価格（薬品は標準的な小売価格）は次のとおりです。

（単位：円）

製 品 名		単 位	価 格		改 定 の 時 期
酒 類	アサヒビール (淡色ビール)	大 び ん (6 3 3 ml) 1 本	208.05※ 232.80※	(126.66) (151.35)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		中 び ん (5 0 0 ml) 1 本	175.90※ 195.70※	(100.05) (119.55)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		小 び ん (3 3 4 ml) 1 本 スタイナーびん (3 3 4 ml) 1 本	123.10※ 137.10※	(66.83) (79.85)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		樽 び ん (3 0 0 ml) 1 本	140.25 150.25	(60.03) (71.73)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		缶 詰 (1 l) 1 缶	377.50 417.00	(200.10) (239.10)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		缶 詰 (7 5 0 ml) 1 缶	286.50 316.00	(150.07) (179.32)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		缶 詰 (5 0 0 ml) 1 缶	193.50 213.25	(100.05) (119.55)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		缶 詰 (3 5 0 ml) 1 缶	147.75 162.00	(70.03) (83.68)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		缶 詰 (3 0 0 ml) 1 缶	140.25 150.25	(60.03) (71.73)	昭和59年 3月 (新発売) 昭和59年 5月
		缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	118.25 128.00	(50.02) (59.77)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		缶 詰 (1 3 5 ml) 1 缶	75.25	(32.27)	昭和59年 5月 (新発売)
		樽 詰 1 l	360.00※ 399.40※	(200.10) (239.10)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		10 l 樽詰 1 本	3,930.00※ 4,298.00※	(2,001.00) (2,391.00)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		ミ = 樽 7 (7 l) 1 本	3,066.00 3,343.00	(1,400.70) (1,673.70)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		ミ = 樽 5 (5 l) 1 本	2,202.00 2,399.00	(1,000.50) (1,195.50)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		ミ = 樽 3 (3 l) 1 本	1,354.00 1,472.00	(600.30) (717.30)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		ミ = 樽 2 (2 l) 1 本	972.00 1,051.00	(400.20) (478.20)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		とっくり 1 l (1 l) 1 本	525.50	(239.10)	昭和60年 3月 (新発売)
		とっくり 2 l (2 l) 1 本	972.00 1,051.00	(400.20) (478.20)	昭和59年 3月 (新発売) 昭和59年 5月
		とっくり 3 l (3 l) 1 本	1,472.00	(717.30)	昭和60年 3月 (新発売)
		つ の 樽 2 l (2 l) 1 本	1,051.00	(478.20)	昭和60年 3月 (新発売)
		ミ = 樽 1.2 (1.2 l) 1 本	583.00 631.00	(240.12) (286.92)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		ボ ト ル 1.2 (1.2 l) 1 本	583.00 631.00	(240.12) (286.92)	昭和58年10月 昭和59年 5月
	アサヒ 黒ビール	小 び ん (3 3 4 ml) 1 本	135.10※ 149.10※	(66.83) (79.85)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		樽 び ん (3 0 0 ml) 1 本	159.25 169.25	(60.03) (71.73)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		缶 詰 (3 5 0 ml) 1 缶	169.50 183.75	(70.03) (83.68)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	132.50 142.25	(50.02) (59.77)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		ミ = 樽 2 (2 l) 1 本	1,005.00 1,084.00	(400.20) (478.20)	昭和57年 5月 (新発売) 昭和59年 5月

(単位:円)

製 品 名		単 位	価 格		改 定 の 時 期
酒 類	ビール	アサヒ スタウト	小 び ん (3 3 4 ml) 1 本	152.50※ (66.83) 166.50※ (79.85)	昭和58年10月 昭和59年 5月
		レーベン ブロイ	び ん 詰 (3 5 0 ml) 1 本	190.00 (70.03)	昭和58年 4月 (新発売)
			缶 詰 (3 5 0 ml) 1 缶	204.25 (83.68)	昭和59年 5月
	発 ほ う 酒	アサヒ ライトカクテル	缶 詰 (5 0 0 ml) 1 缶	250.00 (100.05) 269.75 (119.55)	昭和58年 4月 (新発売) 昭和59年 5月
			ビーピンクレモン び ん 詰 (3 0 0 ml) 1 本	144.00 (49.35)	昭和59年 7月 (新発売)
			ビーグリーンズスイート び ん 詰 (3 0 0 ml) 1 本	144.00 (49.35)	昭和60年 2月 (新発売)
			ビーパープルドライ び ん 詰 (3 0 0 ml) 1 本	144.00 (49.35)	昭和60年 2月 (新発売)
			ビーピンクレモン 缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	122.00 (41.12)	昭和59年 7月 (新発売)
			ビーグリーンズスイート 缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	122.00 (41.12)	昭和60年 2月 (新発売)
			ビーパープルドライ 缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	122.00 (41.12)	昭和60年 2月 (新発売)
			ビーピンクレモン 缶 詰 (1 3 5 ml) 1 缶	72.00 (22.20)	昭和60年 7月 (新発売)
	果 甘 味 酒	シーサイド クーラー	樽 詰 1 ℓ	360.00 (90.20)	昭和60年 7月 (新発売)
飲 料	三ツ矢サイダー	三ツ矢サイダー	び ん 詰 (3 5 0 ml) 1 本	48.00※ (2.20)	昭和55年12月
			び ん 詰 (3 0 0 ml) 1 本	73.60 (3.10)	昭和59年 2月 (新発売)
			び ん 詰 (2 0 0 ml) 1 本	42.08※ (1.85)	昭和57年 1月 (新発売)
			び ん 詰 (1.2 ℓ) 1 本	184.00 (7.85)	昭和59年 3月 (新発売)
			び ん 詰 (1.5 ℓ) 1 本	223.00 (9.40)	昭和60年 2月 (新発売)
			缶 詰 (5 0 0 ml) 1 缶	89.71 (3.75)	昭和57年10月
			缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	67.47 (2.80)	昭和57年10月
			缶 詰 (2 0 0 ml) 1 缶	58.87 (2.50)	昭和59年 6月 (新発売)
			び ん 詰 (3 5 0 ml) 1 本	48.00※ (2.20)	昭和59年 6月 (新発売)
			び ん 詰 (3 0 0 ml) 1 本	73.60 (3.10)	昭和59年 6月 (新発売)
			缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	67.47 (2.80)	昭和59年 5月 (新発売)
			三ツ矢サイダー シトラスイエロー	び ん 詰 (3 5 0 ml) 1 本	48.00※ (2.20)
			三ツ矢パディ	び ん 詰 (3 0 0 ml) 1 本	110.40 (4.70)
			缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	73.60 (3.10)	昭和58年 2月 (新発売)
	三ツ矢 クリスタルC	三ツ矢 クリスタルC	缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	88.30 (3.75)	昭和58年 2月 (新発売)
			び ん 詰 (3 0 0 ml) 1 本	73.60 (3.10)	昭和58年 1月 (新発売)
			び ん 詰 (1.2 ℓ) 1 本	191.33 (8.15)	昭和58年 6月 (新発売)
	三ツ矢 クリームソーダ カサブランカ	三ツ矢 クリームソーダ カサブランカ	缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	73.60 (3.10)	昭和58年 4月 (新発売)
			缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	73.60 (3.10)	昭和58年 7月 (新発売)
			び ん 詰 (1.5 ℓ) 1 本	223.00	昭和59年 6月 (新発売)
	バヤリース オレンジ	バヤリース オレンジ	び ん 詰 (1 ℓ) 1 本	153.33	昭和57年 4月 (新発売)
			び ん 詰 (5 0 0 ml) 1 本	86.40※	昭和55年 9月
			び ん 詰 (3 0 0 ml) 1 本	73.60	昭和57年 9月 (新発売)
			び ん 詰 (2 0 0 ml) 1 本	44.50※	昭和55年 9月
			缶 詰 (5 0 0 g) 1 缶	89.71	昭和58年11月 (新発売)
			缶 詰 (2 5 0 g) 1 缶	67.47	昭和57年10月
			缶 詰 (1 9 0 g) 1 缶	58.87	昭和59年 6月 (新発売)
	ウエルキンソン タンサン	ウエルキンソン タンサン	び ん 詰 (3 4 0 ml) 1 本	42.92※ (1.85)	昭和58年 1月
			び ん 詰 (3 0 0 ml) 1 本	48.33※ (2.20)	昭和59年 4月
			び ん 詰 (1 9 0 ml) 1 本	58.90 (2.50)	昭和59年 3月 (新発売)
	ウエルキンソン ドライ ジンジャエール	ウエルキンソン ドライ ジンジャエール	び ん 詰 (3 0 0 ml) 1 本	37.08※ (1.55)	昭和58年 1月
			び ん 詰 (1 9 0 ml) 1 本	41.67※ (1.85)	昭和59年 4月
			缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶	73.60 (3.10)	昭和58年 3月 (新発売)
	ウエルキンソン ドライ ジンジャエール	ウエルキンソン ドライ ジンジャエール	び ん 詰 (3 0 0 ml) 1 本	42.92※ (1.85)	昭和58年 1月
			び ん 詰 (1 9 0 ml) 1 本	67.47 (2.80)	昭和58年 3月 (新発売)
			缶 詰 (2 5 0 ml) 1 缶		

(単位:円)

(単位：円)

製 品 名		単 位	価 格	改 定 の 時 期
飲 料	ウキルキンソン ミネラルウォーター	び ん 詰 (1 ℓ) 1 本	139.50	昭和58年 8月 (新発売)
	三ツ矢コーヒー	缶 詰 (250 g) 1 缶	72.00	昭和56年 3月 (新発売)
		缶 詰 (190 g) 1 缶	72.00	昭和57年 3月 (新発売)
	ブリッブス	び ん 詰 (300 ml) 1 本	80.00 (3.75)	昭和58年 4月 (新発売)
		缶 詰 (250 g) 1 缶	73.60 (3.10)	昭和58年 4月 (新発売)
	シュウェッブス	び ん 詰 (1.5 ℓ) 1 本	259.00 (11.00)	昭和60年 6月 (新発売)
		び ん 詰 (250 ml) 1 本	73.60 (3.10)	昭和59年 4月 (新発売)
缶 詰 (250 ml) 1 缶		73.60 (3.10)	昭和59年 4月 (新発売)	
食 品 ・ 薬 品	エ ビ オ ス	び ん 詰 2,000錠 1 本	2,200.00	昭和57年 7月
		び ん 詰 1,000錠 1 本	1,200.00	昭和57年 7月
	新ラクトーン	び ん 詰 650錠 1 本	1,500.00	昭和57年 7月
		び ん 詰 300錠 1 本	750.00	昭和57年 7月
	エビオス健胃薬	び ん 詰 150錠 1 本	1,600.00	昭和59年 4月 (新発売)
		び ん 詰 70錠 1 本	800.00	昭和59年 4月 (新発売)
	天然調味料	天 然 エ キ ス 1 Kg	872.36	昭和58年
			844.75	昭和59年
826.92			昭和60年	

- (注) 1. 価格欄金額は () 内に記載した酒税または物品税額を含みます。
2. 価格欄に※印を付したものは中味価格です。
3. 10ℓ 樽の価格には卸手数料を含みます。
4. 天然調味料は、当社販売実績の年間平均価格です。

輸入商品のうち主たるものの最近の標準的な小売価格は次のとおりです。

商 品 名	単 位	価 格	改 定 の 時 期
フィロン・ルージュ (フランス・ボルドーワイン)	750mlびん 1 本	1,000円	昭和48年9月
キューベ・デ・シャスール (フランス・ブルゴーニュワイン)	750mlびん 1 本	1,200円	昭和55年4月
ドラーテン・ターフェルワイン (ドイツワイン)	700mlびん 1 本	1,000円	昭和49年7月
ロゼ・ダアンジュ (フランス・ロワールワイン)	750mlびん 1 本	1,300円	昭和58年5月 (新発売)
マイセラーモーゼル (オーストラリアワイン)	750mlびん 1 本	1,000円	昭和59年2月 (新発売)

輸入先は次のとおりです。

フランス	ボルドー市	シュレーダー・エ・シーラー社
フランス	ボヌ市	ブシャール・エイネ・エ・フィス社
フランス	ソミュール市	レミー・パニエ社
フランス	ランス市	クルーグ社
西ドイツ	アルフ	エバルト・テオドル・ドラーテン社
オーストラリア	シドニー市	リンデマン社

これら輸入先の取扱商品を現地港本船積込渡しにて買取り、国内における一手販売を行っています。

第4 設備の状況

1. 設備

投下資本

(昭和60年12月31日現在)(単位:百万円)

所 属 科 目	東京工場	名古屋工場	吹田工場	西宮工場	博多工場	福島工場	柏 工場	大阪工場	本支店 その他	計
有形固定資産										
建 物	1,521	1,125	771	856	759	1,416	394	63	2,527	9,437
構 築 物	122	206	261	432	198	251	83	3	266	1,826
機械及び装置	1,579	1,478	1,921	1,555	1,375	1,324	718	127	105	10,186
車輛運搬具	4	1	0	4	0	0	1	1	114	130
工具器具備品	71	26	38	63	33	16	42	6	5,672	5,972
土 地	681	728	80	1,342	21	420	145	1,365	5,575	10,360
小 計	3,980	3,567	3,074	4,255	2,388	3,430	1,385	1,568	14,261	37,913
無形固定資産	4	97	2	5	2	45	0	0	422	580
合 計	3,984	3,664	3,077	4,261	2,391	3,475	1,385	1,569	14,683	38,493

(注) 上記の投下資本金額は、帳簿価額によっており、建設仮勘定計上額を含みません。

生産設備の状況

(昭和60年12月31日現在)

区 分		機 械 設 備		建 物		土地面積	従業員数
		名 称	能 力	構 造	延面積		
東京工場	ビール工場	仕 込 設 備	1式 490kl/日	鉄筋コンクリート造	72,340 ^{m²}	44,187 ^{m²}	194人
		発酵・貯酒設備	22,220kl	鉄 骨 造	2,832		
		製 品 設 備	5列 93kl/時	煉 瓦 造	22		
	食 品 工 場	エキス類製造設備	1式 5,000Kg/日	木 造 等	175		
		調合成型包装設備	1式 120Kg/時				
	倉庫及び事務所他						
小 計					75,369		
名古屋工場	ビ ー ル 工 場	仕 込 設 備	1式 340kl/日	鉄筋コンクリート造	5,849	15,982.6	88
		発酵・貯酒設備	14,850kl	煉 瓦 造	295		
		製 品 設 備	1列 55kl/時	鉄 骨 造	35,986		
	飲 料 工 場	飲料製造設備	3列 28kl/時	木 造 等	16		
	倉庫及び事務所他						
小 計					42,146		
吹田工場	ビ ー ル 工 場	仕 込 設 備	2式 960kl/日	鉄筋コンクリート造	40,568	175,717	222
		発酵・貯酒設備	30,040kl	煉 瓦 造	18,972		
		製 品 設 備	8列 141kl/時	鉄骨及びブロック造	22,615		
	倉庫及び事務所他			木 造 等	3,508		
	小 計				85,663		

(昭和60年12月31日現在)

区 分	機 械 設 備		建 物		土地面積 m ²	従業員数 人
	名 称	能 力	構 造	延 面 積 m ²		
西宮工場	ビール工場	仕込設備	1式 810kl/日	鉄筋コンクリート造	61,071	295
		発酵・貯酒設備	25,670kl	煉瓦造	385	
		製品設備	8列 114kl/時	鉄骨造	34,199	
	飲料工場	飲料製造設備	5列 45kl/時	木造等	4,042	
	びん栓工場	王冠製造設備	1式 48万ヶ/時			
	倉庫及び事務所他					
	小計			99,697	186,542	
博多工場	ビール工場	仕込設備	1式 360kl/日	鉄筋コンクリート造	9,506	148
		発酵・貯酒設備	13,250kl	煉瓦造	22,122	
		製品設備	3列 69kl/時	鉄骨造	25,198	
	飲料工場	飲料製造設備	2列 27kl/時	木造等	2,369	
	倉庫及び事務所他					
	小計			59,195	130,440	
福島工場	ビール工場	仕込設備	1式 240kl/日	鉄筋コンクリート造	3,676	57
		発酵・貯酒設備	8,110kl	鉄骨造	27,436	
		製品設備	1列 56kl/時	煉瓦及びブロック造	193	
	飲料工場	飲料製造設備	2列 24kl/時	木造等	118	
	倉庫及び事務所他					
	小計			31,423	213,444	
柏工場	飲料工場	飲料製造設備	7列 65kl/時	鉄筋コンクリート造	3,587	116
	倉庫及び事務所他			煉瓦造	44	
				鉄骨造	18,074	
				木造等	100	
	小計			21,805	55,108	
大阪工場	薬品工場	洗滌・乾燥設備	1式 500kg/時	鉄筋コンクリート造	5,022	36
		製剤設備	1式 570kg/時	鉄骨造	660	
		包装設備	1式 790kg/時	煉瓦及びブロック造	79	
	倉庫及び事務所他			木造等	550	
	小計			6,311	25,661	
合 計				421,609	990,925	1,156

(注) 上記面積には社宅、寮を含みます。

営業設備の状況

(昭和60年12月31日現在)

事業場名	建 物	土 地	従業員数	事業場名	建 物	土 地	従業員数	事業場名	建 物	土 地	従業員数
本 店	(4,993) 48,509	(428) 118,674	272	新潟支店	(719) 719	m ² 0	11	京都支店	(327) 3,356	m ² 4,965	40
東京支店	(966) 25,100	(8,367) 53,884	212	仙台支店	(1,141) 2,569	1,310	44	神戸支店	(339) 4,104	(330) 5,870	58
千葉支店	(459) 459	0	22	静岡支店	(712) 712	0	15	広島支店	(919) 3,130	4,030	39
埼玉支店	(554) 554	0	22	名古屋支店	(744) 3,826	2,312	58	四国支店	(725) 2,148	1,293	39
横浜支店	(1,510) 4,227	7,407	49	金沢支店	(798) 798	0	13	九州支店	(699) 5,303	4,047	80
関東支店	(826) 826	0	25	大阪支店	(4,938) 33,560	(6,878) 50,937	210	合 計	(21,369) 139,900	(16,003) 254,729	1,209

(注) 1. 上記面積は各事業場の事務所、社宅、倉庫等で、()内の面積は賃借分を示し下段に含みます。

2. 従業員はほかに中央研究所(東京工場内) 78人、関係会社等への出向社員220人が在籍しています。

その他の設備の状況

(昭和60年12月31日現在)

事業所名	建物		土地面積	設備	主要業務	従業員数
	構造	面積				
庄原林業所	木造	892 ^{m²}	17,122.206 ^{m²}	移動式製材機1台他	山林の経営	3 ^人
山形ホップセンター	木造	3,904	10,829	ホップ処理施設1式	ホップの栽培指導・検収及び加工	4
岩手試験農場	鉄筋コンクリート造他	585	197,719	トラクター他 農場用機具 1式	ホップ、ぶどうその他の果樹に関する試験研究他	2
野洲工場	鉄筋コンクリート造他	19,840	49,986	製麦設備1式	麦芽の製造 (日本麦芽工業に製造委託中)	0
合計		25,221	17,380,740			9

(注) 上記面積には、社宅を含みます。

2. 設備の新設、重要な拡充若しくは改修又はこれらの計画

(1) 昭和60年12月31日現在において、実施中のもの並びに計画中の主なものは次のとおりです。

事業場名	計画内容	予算金額	既支出額	着工年月	完成予定年月	摘要
吹田工場	薬品工場新設	百万円 3,000	百万円 1,213	昭和60年9月	昭和61年9月	製薬設備新設
柏工場	飲料びん列、調合設備拡充	百万円 1,010	百万円 0	昭和61年3月	昭和61年6月	飲料の多品種化対応

今後の所要資金2,797百万円は、全額自己資金によりまかなう予定です。

(2) 東京都大田区にありました食品・薬品製造工場(旧東京工場)の生産設備は、昭和60年4月東京大森工場(昭和60年4月東京工場と改称)に移転統合しました。なお、食品・薬品の生産能力には変動はありません。

3. 固定資産の売却、撤去又は滅失

(1) 吾妻橋工場用地収用に伴い、同工場の工場用建物及び機械設備のうち、仕込設備一式(能力500kl/日)、発酵・貯酒設備(能力13,750kl)、製品設備2列を廃棄しました。

(2) 上記2の(2)による移転統合により、旧東京工場の跡地(面積6871.22m²)は東京都大田区に譲渡しました。

第 5 経 理 の 状 況

1. 当社の財務諸表は「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。)に基づいて作成しています。
2. 本報告書に記載した財務諸表については、証券取引法第193条の2の規定に基づき監査法人朝日新和会計社の監査を受け次頁に登載のとおり監査報告書を受領しました。
3. 従来、当社の会計監査を担当していました監査法人朝日会計社は、昭和60年7月1日新和監査法人与合併し、監査法人朝日新和会計社となりました。
4. 記載金額は百万円単位とし、単位未満の端数については、切り捨ての方法で表示しております。

監 査 報 告 書

朝日麦酒株式会社

代表取締役社長 樋口 廣太郎 殿

昭和 61 年 3 月 28 日

東京都千代田区丸の内 3 丁目 2 番 3 号
富士ビルディング

監査法人 朝日新和会計社

代表社員 公認会計士
関与社員

森田 松太郎



関与社員 公認会計士

西村 勝秀



当監査法人は、証券取引法第193条の2の規定に基づく監査証明を行うため、以下に掲げられている朝日麦酒株式会社の昭和60年1月1日から昭和60年12月31日までの第62期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、利益処分計算書及び附属明細表について監査を行った。

この監査に当たり当監査法人は、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠し、通常実施すべき監査手続を実施した。

監査の結果、会社の採用する会計処理の原則及び手続は、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠し、かつ、前事業年度と同一の基準に従って継続して適用されており、また、財務諸表の表示方法は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）の定めるところに準拠しているものと認められた。

よって、当監査法人は、上記の財務諸表が、朝日麦酒株式会社の昭和60年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を適正に表示しているものと認める。

会社と当監査法人又は関与社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

1. 財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第 61 期 (昭和 59 年 12 月 31 日現在)			第 62 期 (昭和 60 年 12 月 31 日現在)		
	金 額	構 成 比	%	金 額	構 成 比	%
<u>資 産 の 部</u>						
I. 流 動 資 産						
現 金 及 び 預 金※6	6,935			8,417		
受 取 手 形※1	15,010			15,542		
関 係 会 社 受 取 手 形	1,667			779		
売 掛 金	10,787			15,225		
関 係 会 社 売 掛 金	1,972			2,885		
有 価 証 券※2・6	13,247			9,780		
商 品	2,674			602		
販 売 用 不 動 産	—			2,081		
製 品	3,738			3,474		
半 製 品	1,281			1,383		
原 材 料	17,261			16,471		
貯 蔵 品	1,647			1,992		
前 払 費 用	604			632		
短 期 貸 付 金	112			117		
従 業 員 短 期 貸 付 金	47			56		
関 係 会 社 短 期 貸 付 金	343			863		
未 収 入 金	5,050			3,762		
そ の 他 流 動 資 産	899			1,201		
貸 倒 引 当 金	△ 276			△ 206		
流 動 資 産 合 計	83,007	57.2		85,063	60.9	
II. 固 定 資 産						
1. 有 形 固 定 資 産※3・4・5						
建 物	24,751			22,717		
減 価 償 却 累 計 額	△13,584	11.166		△13,280	9.437	
構 築 物	5,808			5,461		
減 価 償 却 累 計 額	△ 3,577	2.230		△ 3,635	1.826	
機 械 及 び 装 置	49,572			42,778		
減 価 償 却 累 計 額	△34,233	15.339		△32,592	10.186	
車 輛 運 搬 具	472			423		
減 価 償 却 累 計 額	△ 307	165		△ 293	130	
工 具 器 具 備 品	17,613			17,176		
減 価 償 却 累 計 額	△ 9,610	8.002		△11,204	5.972	
土 地		10,473			10,360	
建 設 仮 勘 定		1,570			2,066	
有 形 固 定 資 産 合 計	48,948	33.7		39,979	28.6	

(単位:百万円)

科 目	第61期(昭和59年12月31日現在)			第62期(昭和60年12月31日現在)		
	金 額		構 成 比	金 額		構 成 比
2. 無 形 固 定 資 産※5			%			%
借 地 権		10			10	
商 標 権		422			354	
意 匠 権		7			5	
施 設 利 用 権		235			209	
無形固定資産合計		675	0.5		580	0.4
3. 投 資 そ の 他 の 資 産						
投 資 有 価 証 券		1,896			1,980	
関 係 会 社 株 式		4,116			4,524	
出 資 金		49			50	
長 期 貸 付 金		3,574			3,155	
従 業 員 長 期 貸 付 金		566			597	
関 係 会 社 長 期 貸 付 金		1,530			2,186	
敷 金 ・ 保 証 金		850			1,045	
事 業 保 険 料		134			136	
そ の 他 投 資		1,123			1,732	
貸 倒 引 当 金		△ 1,314			△ 1,292	
投資その他の資産合計		12,529	8.6		14,116	10.1
固 定 資 産 合 計		62,153	42.8		54,676	39.1
資 産 合 計		145,161	100.0		139,739	100.0
負 債 の 部						
1. 流 動 負 債						
支 払 手 形		6,280			5,529	
買 掛 金		5,246			6,054	
関係会社支払手形及び買掛金		364			618	
短 期 借 入 金		12,000			15,380	
1年以内に返済する長期借入金※2・3・4		3,147			39	
1年以内償還予定の社債※3		680			2,280	
未 払 酒 税		15,685			15,992	
未 払 物 品 税※3		156			156	
未 払 金		955			1,186	
未 払 事 業 税 等		508			567	
未 払 法 人 税 等		1,182			1,484	
未 払 費 用		5,323			6,021	
預 り 金		30,074			31,368	
従 業 員 預 り 金		2,322			2,310	
関 係 会 社 預 り 金		840			711	
建設工事支払手形		2,808			2,618	
圧縮未決算特別勘定※5		—			3,000	
そ の 他 流 動 負 債		1,001			68	
流 動 負 債 合 計		88,577	61.0		95,389	68.3

(単位:百万円)

科 目	第61期(昭和59年12月31日現在)			第62期(昭和60年12月31日現在)		
	金	額	構 成 比	金	額	構 成 比
Ⅱ. 固 定 負 債			%			%
社 債※3		6,880			4,600	
長 期 借 入 金※2・3・4		10,732			972	
退 職 給 与 引 当 金		6,338			5,934	
国際科学技術博覧会出展引当金		23			-	
固 定 負 債 合 計		23,974	16.5		11,507	8.2
負 債 合 計		112,551	77.5		106,897	76.5
資 本 の 部						
Ⅰ. 資 本 金 ※7		11,171	7.7		11,171	8.0
Ⅱ. 資 本 準 備 金		4,747	3.3		4,747	3.4
Ⅲ. 利 益 準 備 金		2,792	1.9		2,792	2.0
Ⅳ. その他の剰余金						
1. 任 意 積 立 金						
別 途 積 立 金	10,450			10,650		
従業員退職手当基金	150	10,600		150	10,800	
2. 当 期 未 処 分 利 益 金		3,299			3,331	
そ の 他 の 剰 余 金 合 計		13,899	9.6		14,131	10.1
資 本 合 計		32,610	22.5		32,842	23.5
負 債 資 本 合 計		145,161	100.0		139,739	100.0

(2) 損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	第 6 1 期 (昭和59年 1月 1日から 昭和59年12月31日まで)			第 6 2 期 (昭和60年 1月 1日から 昭和60年12月31日まで)		
	金	額	比 率	金	額	比 率
I. 売 上 高		224,366	100.0		236,383	100.0
II. 売 上 原 価						
1. 商品製品期首棚卸高	5,546			6,413		
2. 当期製品製造原価	72,262			76,176		
3. 酒税及び物品税	102,545			107,563		
4. 当期商品仕入高	2,359			2,192		
合 計	182,713			192,346		
5. 商品製品期末棚卸高	6,413	176,300	78.6	6,158	186,187	78.8
売上総利益		48,066	21.4		50,195	21.2
III. 販売費及び一般管理費						
販売奨励金及び手数料	9,999			10,882		
広告宣伝費	8,890			7,934		
運搬費	5,966			6,574		
貸倒引当金繰入額	200			—		
役員報酬	242			182		
従業員給料手当	5,921			6,327		
従業員賞与	1,882			2,040		
退職手当金	18			16		
退職年金掛金	153			166		
福利厚生費	1,289			1,298		
交際費	758			844		
減価償却費	2,110			1,960		
事務所費※1	1,125			1,286		
通信交通費	1,450			1,549		
租税公課	313			402		
事業税	590			780		
その他	2,895	43,808	19.5	3,550	45,796	19.3
営業利益		4,257	1.9		4,398	1.9
IV. 営業外収益						
受取利息	718			747		
関係会社受取利息	334			173		
有価証券利息	371			414		
受取配当金	279			283		
関係会社受取配当金	191			156		
地代及び家賃収入	81			86		
関係会社地代及び家賃収入	668			761		
有価証券売却益	976			511		
雑収入	457	4,079	1.8	148	3,283	1.4

(単位:百万円)

科 目	第61期(昭和59年 1月 1日から 昭和59年12月31日まで)			第62期(昭和60年 1月 1日から 昭和60年12月31日まで)		
	金	額	比 率	金	額	比 率
V. 営 業 外 費 用			%			%
支 払 利 息 及 び 割 引 料	3,949			2,859		
社 債 利 息	622			569		
租 税 公 課	16			73		
原 材 料 貯 蔵 品 売 却 及 び 廃 棄 損	127			193		
社 債 関 係 費	32			30		
賃 貸 不 動 産 経 費	333			333		
雑 支 出	408	5,489	2.4	351	4,411	1.9
経 常 利 益		2,847	1.3		3,270	1.4
VI. 特 別 利 益						
固 定 資 産 売 却 益※2	2,400			1,872		
投 資 有 価 証 券 売 却 益	20			815		
貸 倒 引 当 金 戻 入 額※3	-	2,421	1.0	88	2,776	1.2
VII. 特 別 損 失						
固 定 資 産 売 却 除 却 損※4	417			335		
投 資 有 価 証 券 評 価 損	44			-		
適 格 退 職 年 金 過 去 勤 務 費 用 掛 金	715			735		
役 員 退 職 慰 労 金	53			194		
容 器 等 処 分 損※5	352	1,584	0.7	316	1,582	0.7
税 引 前 当 期 純 利 益		3,684	1.6		4,464	1.9
法 人 税 及 び 住 民 税 額		2,330	1.0		3,100	1.3
当 期 純 利 益		1,354	0.6		1,364	0.6
前 期 繰 越 利 益 金		2,503	1.1		2,525	1.0
中 間 配 当 額		558	0.2		558	0.2
当 期 未 処 分 利 益 金		3,299	1.5		3,331	1.4

製造原価明細書

(単位:百万円)

科 目	第 61 期 (昭和 59 年 1 月 1 日から 昭和 59 年 12 月 31 日まで)		第 62 期 (昭和 60 年 1 月 1 日から 昭和 60 年 12 月 31 日まで)	
	金 額	比 率	金 額	比 率
原 材 料 費	52,451	72.5%	58,318	76.4%
労 務 費	7,221	10.0	6,994	9.2
経 費 ※	12,670	17.5	10,964	14.4
当 期 総 製 造 費 用	72,342	100.0	76,278	100.0
半 製 品 期 首 棚 卸 高	1,201		1,281	
計	73,544		77,560	
半 製 品 期 末 棚 卸 高	1,281		1,383	
当 期 製 品 製 造 原 価	72,262		76,176	

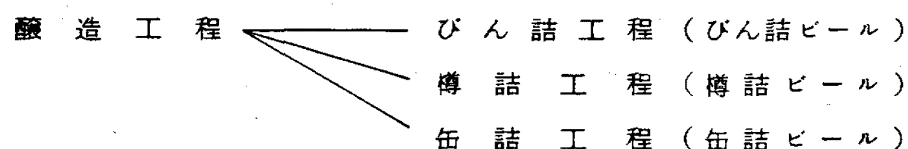
	第 61 期	第 62 期
※ 経費のうち主なものは次のとおりです。		
減 価 償 却 費	4,112 百万円	3,030 百万円
電 力 料	1,358 百万円	1,321 百万円

原価計算方法

当社の製造作業は同種の製品が数個の工程によって連続的に多量生産されているから、工程別総合原価計算を採用しています。

主要製品ビールの原価計算方法の概略は次のとおりです。

(イ) 工程の区分



醸造工程はびん詰ビール、樽詰ビール、缶詰ビール三者に共通であり、その次の工程として、夫々びん詰工程、樽詰工程、缶詰工程があります。

(ロ) 醸造工程の原価

主要原材料(麦芽、ホップ、コーンスターチ他)の使用高と醸造工程における労務費、経費(間接費配賦額を含む)を集計の上、醸造高で除しビール半製品 1 kl 当りの原価を求めます。

この原価は当該醸造の半製品に対するものであり、これに前期繰越半製品原価を加算し総平均法により製品原価となる半製品使用原価を算出し、この半製品使用原価は次工程であるびん詰工程(或は樽詰工程、缶詰工程)に累積されます。

(ハ) びん詰工程(樽詰工程、缶詰工程)の原価

びん詰工程の原価はびん、王冠、商標、函等の原材料費、労務費、経費(間接費配賦額を含む)を集計算出します。

(ニ) 製品原価はこのびん詰工程の原価に上記の醸造工程原価(びん詰高に醸造工程の半製品使用原価を乗じて算出)を加算し、びん詰高で除し製品一函当りの原価を算出します。

樽詰工程、缶詰工程も同様の方法により算出します。

(3) 利益金処分計算書

(単位: 百万円)

区 分	第 61 期 (昭和 59 年 1 月 1 日から 昭和 59 年 12 月 31 日まで)		第 62 期 (昭和 60 年 1 月 1 日から 昭和 60 年 12 月 31 日まで)	
	株主総会承認年月日	昭和 60 年 3 月 29 日	株主総会承認年月日	昭和 61 年 3 月 28 日
	金 額		金 額	
I. 当期末処分利益金		3,299		3,331
II. 利益金処分額				
配 当 金		558		558
取締役賞与金		12		12
監査役賞与金		2		2
任意積立金				
別途積立金	200	200	200	200
計		773		773
III. 次期繰越利益金		2,525		2,558

重要な会計方針

項 目	第 61 期 (昭和 59 年 1 月 1 日から 昭和 59 年 12 月 31 日まで)	第 62 期 (昭和 60 年 1 月 1 日から 昭和 60 年 12 月 31 日まで)
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	移動平均法に基づく原価法	前期に同じ。
2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法		
(1) 商品、製品、半製品、原材料	総平均法に基づく原価法。但し、商品 勘定のうち販売用不動産については、 個別法による原価法	総平均法に基づく原価法
(2) 販売用不動産		個別法による原価法
(3) 貯蔵品	移動平均法に基づく原価法	前期に同じ。
3. 固定資産の減価償却の方法	法人税法に規定する減価償却と同一の 基準を採用しています。	
(1) 有形固定資産	定率法	前期に同じ。
(2) 無形固定資産	定額法	
4. 繰延資産の処理方法	繰延資産については、支出時に全額費 用として処理しています。	前期に同じ。
5. 引当金の計上基準		
(1) 貸倒引当金	債権の貸倒れによる損失に備えるため、 法人税法の規定による法定繰入率によ る引当のほか、債権の回収の可能性を 考慮して計上しています。	債権の貸倒れによる損失に備えるため、 法人税法の規定による法定繰入率によ る引当のほか、債権の回収の可能性を 考慮して計上しています。 なお、法人税法の改正により、貸倒 引当金の法定繰入率が $\frac{10}{1000}$ から $\frac{8}{1000}$ に変更されました。 これにより、貸倒引当金繰入額は 55 百 万円減少しました。
(2) 退職給与引当金	従業員の退職金支給に備えるため、法 人税法の規定に基づき自己都合退職に よる期末要支給額の 40% を計上して います。	前期に同じ。

項 目	第 61 期 (昭和 59 年 1 月 1 日から 昭和 59 年 12 月 31 日まで)	昭和 62 期 (昭和 60 年 1 月 1 日から 昭和 60 年 12 月 31 日まで)
(3) 国際科学技術博覧会出展引当金	国際科学技術博覧会に出展するため、当社が負担する出展費用総見積額のうち、当期までの対応額を計上しています。	
6. その他財務諸表作成のための重要な事項 適格退職年金制度に関する事項	(1) 昭和 58 年 7 月 1 日より、従来の退職金制度の 50% 相当分を適格退職年金制度に移行しております。 (2) 昭和 59 年 12 月 31 日現在の年金資産の合計額 1.120 百万円 (3) 過去勤務費用の掛金期間 13 年 9 ヶ月 (4) 移行に伴う退職給与引当金超過額は法人税法の規定により取崩すことにしています。	(1) 前期に同じ。 (2) 昭和 60 年 12 月 31 日現在の年金資産の合計額 1.797 百万円 (3) 前期に同じ。 (4) 前期に同じ。

表示方法の変更

第 61 期 (昭和 59 年 1 月 1 日から 昭和 59 年 12 月 31 日まで)	第 62 期 (昭和 60 年 1 月 1 日から 昭和 60 年 12 月 31 日まで)
	前期まで「商品」に含めて表示していました販売用の土地等については、当期より「販売用不動産」として区分掲記することとしました。 なお、前期の「販売用不動産」は 2,053 百万円です。

重要な後発事象

第 61 期 (昭和 59 年 1 月 1 日から 昭和 59 年 12 月 31 日まで)	第 62 期 (昭和 60 年 1 月 1 日から 昭和 60 年 12 月 31 日まで)
吾妻橋工場用地について、昭和 59 年 12 月 27 日に住宅・都市整備公団と譲渡契約を締結し、昭和 60 年 2 月で同工場を廃止しました。昭和 60 年末までに建物等を取壊しの上、同用地を引渡す予定です。なお 同用地の譲渡代金 12,443 百万円は、借入金の返済等に充当します。	

注記事項

(貸借対照表関係)

※	第 6 1 期（昭和 5 9 年 1 2 月 3 1 日現在）	第 6 2 期（昭和 6 0 年 1 2 月 3 1 日現在）
1.※ 1	この他に割引手形未決済残高が 4,828 百万円あります。	
※ 2	有価証券の一部を次のとおり借入金の担保に供しています。 有 価 証 券	

注記事項

(貸借対照表関係)

№	第61期(昭和59年12月31日現在)	第62期(昭和60年12月31日現在)
※6	外貨建資産の外貨による金額は、次のとおりです。 (外貨額) (貸借対照表計上額) 有価証券 7,864千US\$ 1,840百万円	外貨建資産の外貨による金額は、次のとおりです。 (外貨額) (貸借対照表計上額) 現金及び預金 664,226DM 53百万円 有価証券 214千US\$ 51百万円
※7	授權株式総数 400,000千株 発行済株式総数 223,422千株	授權株式総数 400,000千株 発行済株式総数 223,422千株
2.	偶発債務 関係会社等の銀行借入金に対し下記のとおり保証を行っています。 従業員 3,628百万円 新日本硝子㈱ 1,478 北海道朝日麦酒㈱ 2,136 その他 21件 2,322 計 9,565	偶発債務 関係会社等の銀行借入金に対し下記のとおり保証を行っています。 従業員 3,283百万円 北海道朝日麦酒㈱ 2,438 その他 26件 3,437 計 9,159

(損益計算書関係)

	第61期(昭和59年1月1日から 昭和59年12月31日まで)	第62期(昭和60年1月1日から 昭和60年12月31日まで)
※1		事務所費は、本店及び支店等の家賃・地代、電子計算機の賃借料及び業務委託料、備用品費等の事務所維持管理費であります。
※2	固定資産売却益は、関係会社に対する土地売却益659百万円を含む土地、建物の売却によるものです。	固定資産売却益は土地、建物の売却によるものです。
※3		期末債権残高減少等に伴う貸倒引当金戻入額です。
※4	固定資産売却除却損は、機械装置等の売却及び除却によるものです。	固定資産売却除却損は、機械装置等の売却及び除却によるものです。
※5	容器等処分損は、容器の切換による旧容器の処分損ならびに販売器具の処分損です。	容器等処分損は、容器の切換による旧容器の処分損です。

(1株当たり情報)

項目	第61期	第62期
1株当たり純資産額	145円96銭	147円00銭
1株当たり当期純利益	6円06銭	6円11銭

(4) 附属明細表

(イ) 有価証券明細表

	銘柄	一株の金額	株式数	取得価額	貸借対照表計上額
		円	株	百万円	百万円
有価証券	株 住友銀行	50	4,091,070	1,118	1,118
	株 第一勧業銀行	50	2,487,712	119	119
	株 三井銀行	50	2,011,936	732	732
	株 三和銀行	50	681,080	34	34
	株 協和銀行	50	378,500	36	36
	株 日本興業銀行	50	1,944,000	138	138
	株 住友信託銀行	50	1,112,400	155	155
	株 東洋信託銀行	500	132,000	227	227
	株 南都銀行	50	218,400	48	48
	株 横浜銀行	50	169,000	30	30
	株 住友海上火災保険	50	117,500	24	24
	株 野村証券	50	1,226,399	764	764
	株 大和証券	50	439,490	92	92
	株 大林組	50	1,184,036	103	103
	株 日新製糖	50	357,960	176	176
	株 味の素	50	299,016	59	59
	株 旭化成工業	50	3,150,000	867	867
	株 住友化学工業	50	427,427	25	25
	株 田辺製薬	50	161,888	28	28
	株 富士写真フイルム	50	20,000	41	41
	株 日本板硝子	50	696,032	140	140
	株 佐々木硝子	50	115,000	26	26
	株 新日本製鉄	50	2,000,000	335	335
	株 川崎製鉄	50	300,000	58	58
	株 住友金属鉱山	50	200,000	391	391
	株 森ゼンマイ鋼業	50	55,000	28	28
	株 団池製作所	50	36,000	40	40
	株 アマノ	50	30,000	37	37
	株 国際電気	50	13,200	30	30
	株 バイオニア	50	20,000	65	65
	株 日本ビクター	50	22,000	65	65
	株 アドバンテスト	50	14,000	87	87
	株 スタンレー電気	50	50,000	50	50
	株 浜松ホトニクス	無額面株式	6,000	35	35
	株 京セラ	50	6,000	38	38
	株 日立造船	50	1,537,360	97	97
	株 ホーヤ	50	40,000	90	90
	株 伊藤萬	50	310,000	157	157
	株 東食	50	200,000	31	31
	株 住友商事	50	212,400	77	77
	株 リョーサン	50	13,000	50	50
	株 大丸	50	264,000	96	96
	株 西友	50	180,000	209	209
	株 オリエントファイナンス	50	30,000	35	35
	株 小田急電鉄	50	100,000	53	53
	株 近畿日本鉄道	50	696,497	44	44
	株 阪神電気鉄道	50	500,000	99	99
	株 関西汽船	50	400,000	25	23
	株 東京電力	500	30,000	80	80
	その他 24 銘柄	—	2,109,129	163	158
	計		30,795,432	7,572	7,565

		銘柄	券面総額	取得価額	貸借対照表計上額	
			百万円	百万円	百万円	
有価証券	公及び地方国債・社債	利付国庫債券	800	783	783	
		利付興業債券	34	34	34	
		利付円貨建債券	1,310	1,265	1,265	
		利付外貨建転換社債	200千US\$	51	51	
		その他4銘柄	21	28	28	
		計	200千US\$ 2,165	2,163	2,163	
	その他の有価証券	種類及び銘柄		取得価額は出資総額	貸借対照表計上額	
				百万円	百万円	
		野村証券投資信託他8銘柄		51	51	
	計		51	51		
投資有価証券	株式	銘柄	一株の金額	株式数	取得価額	貸借対照表計上額
			円	株	百万円	百万円
		(株)ロイヤルホテル	50	3,604,364	511	511
		(株)帝国ホテル	50	1,050,064	85	85
		(株)国際観光ホテルナゴヤキャッスル	500	50,666	25	25
		(株)丸の内ホテル	50	140,000	33	33
		(株)ホテルニューオータニ	500	70,000	35	35
		三井観光開発(株)	500	45,000	22	22
		みかど(株)	50	287,000	45	45
		(株)東京会館	50	652,934	60	56
		藤田観光(株)	50	504,262	36	36
		中央開発観光(株)	50	388,800	28	28
		(株)ニュースカイホテル	50	600,000	30	30
		(株)聴壽館	500	71,200	35	35
		(株)レストラン西武	50	55,000	98	98
		(株)世界貿易センタービルディング	500	80,000	40	40
		松下鈴木(株)	50	1,186,589	56	56
		(株)祭原	50	2,800,000	140	140
		(株)廣屋	50	615,000	30	30
		アライ(株)	500	12,000	99	99
		その他146銘柄	-	3,220,435	707	564
	計		15,433,314	2,120	1,974	
	その他の有価証券	種類及び銘柄		取得価額又は出資総額	貸借対照表計上額	
				百万円	百万円	
		出資証券3銘柄		5	5	
計		5	5			

(ロ) 有形固定資産明細表

(単位：百万円)

資 産 の 種 類	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	期 末 残 高	減 価 償 却 額 累 計	差 引 期 末 残 高
建 物	24,751	1,661	(2,319) 3,694	22,717	13,280	9,437
構 築 物	5,808	128	(284) 474	5,461	3,635	1,826
機 械 及 び 装 置	49,572	3,767	(6,217) 10,561	42,778	32,592	10,186
車 輛 運 搬 具	472	69	(20) 118	423	293	130
工 具 器 具 備 品	17,613	428	865	17,176	11,204	5,972
土 地	10,473	1,250	(1,174) 1,363	10,360	—	10,360
建 設 仮 勘 定	1,570	7,804	7,308	2,066	—	2,066
計	110,261	15,109	(10,017) 24,386	100,985	61,006	39,979

(注) 1. 機械及び装置増加の主なものは、新製品及び品種多様化対応設備(1,597百万円)等です。

2. 当期減少額欄の()は、当期圧縮記帳額であります。

(ハ) 無形固定資産明細表

当期末における無形固定資産の金額が資産の総額の百分の一以下であるため、財務諸表等規則第120条により、本表の作成を省略しました。

(二) 関係会社有価証券明細表

銘柄	一金株の額	期首残高			当期増加額		当期減少額		期末残高			摘要
		株式数	取得価額	貸借対照表計上額	株式数	金額	株式数	金額	株式数	取得価額	貸借対照表計上額	
		株	百万円	百万円	株	百万円	株	百万円	株	百万円	百万円	
ニッカウキスキー(株)	50	21319080	1929	1929	0	0	0	0	21319080	1929	1929	子会社
新日本硝子(株)	50	6000000	556	450	0	0	0	0	6000000	556	450	子会社
三ツ矢フーズ(株)	500	180000	90	90	0	0	0	0	180000	90	90	子会社
朝日共栄(株)	50	1200000	51	51	0	0	0	0	1200000	51	51	子会社
株ニューアサヒ	500	31000	42	36	0	0	0	0	31000	42	36	子会社
株サンライズ・エンタープライズ	50000	400	20	20	0	0	0	0	400	20	20	子会社
エイ・アンド・エスレストラン開発(株)	50000	0	0	0	400	20	0	0	400	20	20	子会社
大阪朝日運送(株)	500	143200	661	661	0	0	0	0	143200	661	661	子会社
東京朝日運送(株)	500	28000	14	14	0	0	0	0	28000	14	14	子会社
名古屋朝日運送(株)	500	20000	10	10	0	0	0	0	20000	10	10	子会社
九州朝日運送(株)	500	20000	10	10	0	0	0	0	20000	10	10	子会社
日本麦芽工業(株)	50	1200000	221	221	0	0	0	0	1200000	221	221	子会社
株千葉漢方医薬研究所	500	4000	1	1	0	0	0	0	4000	1	1	子会社
株アサヒセンター	500	22000	114	14	0	0	0	0	22000	114	14	子会社
株ジャパン・インターナショナル・リカー	500	20000	10	10	0	0	0	0	20000	10	10	子会社
株マสด	500	96000	48	48	776000	388	0	0	872000	436	436	子会社
北海道朝日麦酒(株)	500	750000	375	375	0	0	0	0	750000	375	375	関連会社
株アサヒビール園	500	25000	12	12	0	0	0	0	25000	12	12	関連会社
日本ビザハット(株)	500	72000	41	41	0	0	0	0	72000	41	41	関連会社
株菊水	500	500	0	0	0	0	0	0	500	0	0	関連会社
株御園食堂	500	23330	11	11	0	0	0	0	23330	11	11	関連会社
株東京ロイヤルホテル	500	27000	13	1	0	0	0	0	27000	13	1	関連会社
株ホテルステーションプラザ	5000	8000	40	0	0	0	0	0	8000	40	0	関連会社
株四季	500	12000	6	6	0	0	0	0	12000	6	6	関連会社
株グルマンフーズサービス	500	9975	4	4	0	0	0	0	9975	4	4	関連会社
株やる気茶屋	50000	220	11	11	0	0	0	0	220	11	11	関連会社
株エーデルワイス	500	50000	25	25	0	0	0	0	50000	25	25	関連会社
株吉田	50	600000	30	30	0	0	0	0	600000	30	30	関連会社
株吉長巴屋	500	22608	11	11	0	0	0	0	22608	11	11	関連会社
今泉酒類販売(株)	500	6875	1	1	0	0	0	0	6875	1	1	関連会社
橋本酒類食品(株)	500	15000	7	0	0	0	15000	0	0	0	0	—
北浜中央ビル管理(株)	500	12000	6	6	0	0	0	0	12000	6	6	関連会社
株マン・スペースデベロップメント	50000	200	10	10	0	0	0	0	200	10	10	関連会社
計		31918388	4387	4116	776400	408	15000	0	32679788	4788	4524	

- (注) 1. エイ・アンド・エスレストラン開発(株)の当期増加は、設立新株引受によるものであります。
2. 前期まで記載していた昭和企業(株)は、昭和60年3月社名変更により株アサヒセンターとなりました。
3. 株マสดは、当期増資引受及び購入により関連会社より子会社となりました。
4. 橋本酒類食品(株)の当期減少は売却によるものであります。

主な関係会社との関係内容

関係会社名	発行済株式総数に対する所有率	役員 の 兼任状況	当社との関係
北海道朝日麦酒(株)	50.00%	4名	同社に対する貸付金 2,079百万円
ニッカウキスキー(株)	72.02%	1名	当社輸入ワインの販売 同社に対する貸付金 12百万円

(ホ) 関係会社出資金明細表

該当事項はありません。

(ヘ) 関係会社貸付金明細書

(単位：百万円)

区分	関係会社	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要		
						最終期限	返済方法	担保
短期	北海道朝日麦酒(株)	308	777	308	777	昭和61年10月	期限一括返済	なし
	(株)アサヒセンター	0	137	67	70	昭和61年1月	期限一括返済	なし
	橋本酒類食品(株)	10	0	10	0	—	—	—
	計	318	914	385	847			
長期	新日本硝子(株)	5	0	0	5	未定	随時返済	株式
	東京朝日運送(株)	12	0	0	12	未定	随時返済	なし
	ニッカウキスキー(株)	12	0	0	12	未定	随時返済	株式
	(株)アサヒセンター	490	50	0	540	未定	随時返済	一部株式
	エービーサービス(株)	(12) 15	0	12	(3) 3	昭和61年3月	分割返済	なし
	(株)ニューアサヒ	2	0	0	2	未定	随時返済	株式
	(株)千葉漢方医薬研究所	14	77	26	65	未定	随時返済	なし
	(株)フレスガッセ	0	45	0	45	未定	随時返済	なし
	エイ・アンド・エス レストラン開発(株)	0	25	0	25	未定	随時返済	なし
	(株)マสด	0	190	0	190	昭和71年3月	分割返済	なし
	北海道朝日麦酒(株)	(13) 1,005	310	13	(12) 1,301	未定	随時返済	なし
	計	(25) 1,556	697	51	(15) 2,202			

(注) 長期貸付金()内の金額は、貸借対照表日から1年以内に返済予定のもので、貸借対照表面では「流動資産」に計上しており下段金額に含まれています。

(ト) 社債明細表

(単位：百万円)

銘柄	発行年月日	発行総額	償還額	未償還残高	発行価格	利率	担保	償還期限	摘要
第4回2号 物上担保付	昭和55年 1月25日	2,500	700	(1,800) 1,800	99円75銭	年7.9%	西宮工場 財団 第1順位	昭和61年 1月25日	設備資金
第5回1号 物上担保付	昭和56年 2月24日	2,500	500	(200) 2,000	98円75銭	年8.2%	吹田工場 財団 第1順位	昭和62年 2月24日	設備資金
第5回2号 物上担保付	昭和57年 2月23日	3,500	420	(280) 3,080	99円	年7.9%	吹田工場 財団 第1順位	昭和63日 2月23日	設備資金
計		8,500	1,620	(2,280) 6,880					

(注) 上段()内金額は、貸借対照表日から1年以内に償還するもので、貸借対照表面では「流動負債」に計上しており下段金額に含まれています。

(チ) 長期借入金明細表

(単位:百万円)

借入先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
※(株) 日本興業銀行	(542) 2,559	0	2,559	0	
※住友信託銀行(株)	(322) 1,287	0	1,287	0	
※三井信託銀行(株)	(324) 1,283	0	1,283	0	
※東洋信託銀行(株)	(324) 1,283	0	1,283	0	
※(株) 住友銀行	(244) 1,042	0	1,042	0	
※(株) 第一勧業銀行	(160) 531	0	531	0	
※(株) 三井銀行	(151) 521	0	521	0	
※(株) 協和銀行	(6) 35	0	35	0	
※農林中央金庫	(6) 35	0	35	0	
(株) 東邦銀行	(6) 6	0	6	0	
※第一生命保険相互会社	(102) 402	0	402	0	
※富国生命保険相互会社	(100) 404	0	404	0	
※住友生命保険相互会社	(102) 402	0	402	0	
※東邦生命保険相互会社	(51) 198	0	198	0	
※東京生命保険相互会社	(52) 197	0	197	0	
※三井生命保険相互会社	(52) 200	0	200	0	
※住友海上火災保険(株)	(52) 197	0	197	0	
※北海道東北開発公庫	(448) 1,665	0	1,665	0	
※公害防止事業団	(28) 28	0	28	0	
※農林漁業金融公庫	339	35	0	375	造林資金 期限 昭和105年5月 分割返済 担保 山林
備北森林組合	(0) 0	0	0	0	
東京都	(1) 2	0	2	0	
※住宅金融公庫	(1) 14	0	14	0	
※年金福祉事業団	(69) 1,242	68	674	(39) 636	住宅建設資金 期限 昭和80年3月 分割返済 担保 土地建物
計	(3,147) 13,879	104	12,972	(39) 1,012	

(注) 1. 借入先欄に※印を付してあるものは、借入先別一括記載しています。

これら一括した借入金の貸借対照表日以降3年間の約定返済予定は、次のとおりです。

第1年 39百万円 第2年 41百万円 第3年 43百万円

2. 期首残高欄と期末残高欄の()内金額は、貸借対照表日から1年以内に返済するもので、貸借対照表面では流動負債に計上しており、下段金額に含まれています。

(リ) 関係会社借入金明細表

該当事項はありません。

(ヌ) 資本金明細表

既 発 行 株 式	種 類	発 行 数	資本組入額の 総 額	上 場 取 引 所 名	摘 要	
	額 面 株 式	普通株式	223,422,492株	11,171百万円	東京証券取引所 大阪証券取引所 名古屋証券取引所 京都証券取引所	1. 券 面 額 50円 2. 券面総額 11,171百万円 3. 関係会社の所有株式数 47,542株 4. 転換社債の株式への転換によって発行した 普通株式の累計株式数ならびにその資本組入 額の総額は、次のとおりです。 累計株式数 21,822,492株 累計資本組入額の総額 1,091百万円
		小 計	223,422,492株	11,171百万円		
資 本 の 額		11,171百万円				
準 備 金 の 資 本 組 入 額	資本組入額	摘 要				
	240百万円	昭和26年10月3日	再評価積立金の資本組入			
	360百万円	昭和28年7月1日	"			
	365百万円	昭和32年1月1日	"			
	182百万円	昭和34年12月1日	"			
	280百万円	昭和36年11月1日	"			
	計1,427百万円					

(ル) 資本剰余金明細表

当期中において、資本剰余金の増加額及び減少額がないため、財務諸表等規則第124条により本表の作成を省略しました。

(ロ) 利益準備金及び任意積立金明細表

(単位：百万円)

区 分	前期末残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘 要
利 益 準 備 金	2,792	0	0	2,792	別途積立金の当期増加額は、前期決算 の利益処分によるものです。
別 途 積 立 金	10,450	200	0	10,650	
従業員退職手当基金	150	0	0	150	
計	13,392	200	0	13,592	

(ワ) 減価償却費明細表

(単位：百万円)

資産の種類	取得原価	当期償却額	償却累計額	当期末残高	償却累計率	償却範囲額に対する過不足額	
						当期分	累計
有形固定資産					%		
建物	22,717	629	13,280	9,437	58.5	0	0
構築物	5,461	172	3,635	1,826	66.6	0	0
機械及び装置	42,779	1,934	32,592	10,186	76.2	0	0
車両運搬具	423	63	293	130	69.3	0	0
工具器具備品	17,176	2,337	11,204	5,972	65.2	0	0
小計	88,559	5,136	61,006	27,552	68.8	0	0
無形固定資産					%		
特許権	9	0	8	0	92.5	0	0
商標権	682	67	328	354	48.1	0	0
意匠権	17	2	11	5	67.8	0	0
施設利用権	670	31	492	178	74.0	0	0
小計	1,379	102	840	538	61.1	0	0
合計	89,938	5,238	61,847	28,091	68.7	0	0

(注) 1. 無形固定資産には、非償却資産である借地権及び電話加入権41百万円を除外しています。

2. 当期償却額は、製造原価に3,030百万円、販売費及び一般管理費に1,960百万円計上しており、残額248百万円は、賃貸不動産経費等に計上しています。

(カ) 引当金明細表

(単位：百万円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	1,590	1,498	3	※1,587	1,498
退職給与引当金	6,338	0	403	0	5,934
国際科学技術博覧会 出展引当金	23	0	23	0	0

(注) 1. 当期減少額その他※は、期首残高のうち目的使用以外の部分を洗替方式により全額取崩したものです。

2. 前期まで計上しておりました国際科学技術博覧会出展引当金は、同博覧会の終了に伴い、全額取崩しております。

2. 主な資産負債及び収支の内容（単位：百万円）

(1) 現金及び預金

種 類	金 額
現 金	10
当 座 預 金	1,112
通 知 預 金	349
普 通 預 金	24.6
定 期 預 金	6,699
計	8,417

(2) 受 取 手 形

摘 要	金 額
1 月 期 日 の も の	9,185
2 月 期 日 の も の	5,153
3 月 期 日 の も の	634
4 月 以 降 期 日 の も の	1,347
計	16,321

(注) 1. 関係会社受取手形を含みます。

2. 相手先業者別内訳

酒類食品卸売業者 15,791百万円

薬品関連業者他 529百万円

(3) 売 掛 金

摘 要	金 額
酒 類	13,764
飲 料 等	3,986
薬 品 等	359
計	18,110

(注) 1. 関係会社売掛金を含みます。

2. 相手先業者別内訳

酒類食品卸売業者 17,751百万円

薬品関連業者他 359百万円

売掛金の回収並びに滞留状況は次のとおりです。

前期繰越高	当期発生高	当期回収高	期末残高	回収率	平均滞留期間
12,759	236,383	231,032	18,110	93%	24日

(注) 回収率並びに平均滞留期間の算出方法は、次のとおりです。

回収率 = 当期回収額 ÷ (前期繰越高 + 当期発生額)

平均滞留期間 = $\frac{\text{前期繰越高} + \text{期末残高}}{2} \div \frac{\text{当期発生額}}{12} \times 30 \text{ 日}$

(4) 商 品

摘 要	金 額
ワ イ ン	582
そ の 他	20
計	602

(6) 製 品

摘 要	金 額
酒 類	2,049
飲 料	1,111
薬 品 等	313
計	3,474

(5) 販売用不動産

摘 要	金 額
大阪府吹田市所在宅地 (面積 14,660m ²)	2,081

(7) 半 製 品

摘 要	金 額
酒 類	1,266
薬 品 等	117
計	1,383

(7) 原 材 料

摘 要	金 額
大 麦 ・ 麦 芽	4,854
米 ・ 澱 粉	29
ホ ッ プ	1,905
容 器	8,154
王 冠 ・ 商 標	147
そ の 他	1,379
計	16,471

(9) 未 収 入 金

摘 要	金 額
ギフト券売却代金	2,164
そ の 他	1,598
計	3,762

(8) 貯 蔵 品

摘 要	金 額
補 助 材 料	75
修 繕 材 料	15
販 売 用 品 類	1,377
そ の 他	523
計	1,992

(10) 建設仮勘定

摘 要	金 額
吹 田 工 場 倉 庫	770
吹 田 ・ 薬 品 工 場	273
そ の 他	1,021
計	2,066

(11) 長期貸付金

貸 付 先	金 額	摘 要
麦 酒 協 会	2	設備資金 返済期限 昭和63年9月
販 売 関 係 先	3,152	事業運営資金担保付、原則として月賦返済
計	3,155	

(12) その他投資

摘 要	金 額
一 年 超 定 期 預 金	440
そ の 他	1,292
計	1,732

(14) 買 掛 金

摘 要	金 額
得意先に対する回収容器代	1,383
商事会社等に対する 原材料及び燃料代	3,172
そ の 他	1,498
計	6,054

(13) 支 払 手 形

摘 要	金 額
製造会社等に対する容器代	3,461
商事会社等に対する原材料及び燃料代	866
製造会社等に対する販売用品代	586
そ の 他	614
計	5,529

(支払手形の支払期日別内訳)

摘 要	金 額
1 月 期 日 の も の	2,881
2 月 期 日 の も の	2,490
3 月 期 日 の も の	1,520
4 月 以 降 期 日 の も の	1,256
計	8,148

(注) 建設工事支払手形を含みます。

(15) 短期借入金

借入先	金額	備考
(株)住友銀行	3,190	運転資金・担保なし
(株)第一勧業銀行	1,440	"
(株)三井銀行	1,360	"
(株)三和銀行	465	"
(株)大和銀行	450	"
(株)太陽神戸銀行	420	"
(株)東海銀行	350	"
(株)埼玉銀行	340	"
(株)千葉銀行	350	"
(株)横浜銀行	350	"
(株)南都銀行	240	"
(株)群馬銀行	190	"
(株)日本興業銀行	300	"
住友信託銀行(株)	250	"
三井信託銀行(株)	250	"
東洋信託銀行(株)	250	"
農林中央金庫	3,500	"
その他 24 行	1,685	"
計	15,380	

(20) 従業員預り金

摘要	金額
従業員社内預金	2,310

(16) 未払酒税

摘要	金額
酒類の庫出に対する酒税	15,992

(17) 未払法人税等

摘要	金額
法人税ならびに住民税の未納付額	1,484

(18) 未払費用

摘要	金額
運搬費	1,138
手数料他特約店未払金	1,986
人件費	801
その他	2,095
計	6,021

(19) 預り金

摘要	金額
取引契約保証金	19,843
その他得意先預り金	10,397
源泉所得税及び社会保険料	232
その他	895
計	31,368

3. 資金繰状況

(1) 最近の資金繰実績(昭和60年1月から昭和60年12月まで)

(単位:百万円)

項目別	月 別	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	合 計
収入の部						
営 業 収 入		41,261	55,349	91,791	59,546	247,947
借 入 金		10,934	13,326	22,729	24,319	71,308
そ の 他※1		20,537	8,771	15,507	13,467	58,282
合 計		72,732	77,446	130,027	97,332	377,537
支出の部						
原 材 料 費		12,509	14,731	27,505	21,617	76,362
設 備 費		2,693	1,277	2,377	2,143	9,490
人 件 費		3,105	5,210	3,621	4,830	16,766
経 費		7,967	9,028	14,442	9,655	41,092
支 払 利 息		803	207	460	232	1,702
酒 税 及 び 物 品 税		15,805	16,212	47,386	27,855	107,258
法 人 税 ・ 事 業 税 等		1,690	0	1,319	428	3,437
配 当 金		395	160	394	161	1,110
借 入 金 返 済		13,904	20,873	28,770	17,248	80,795
社 債 償 還		340	0	340	0	680
そ の 他※2		6,178	8,504	10,086	13,265	38,033
合 計		65,389	76,202	136,700	97,434	375,725
前 月 か ら の 繰 越 金※3		7,045	14,388	15,632	8,959	7,045
翌 月 へ の 繰 越 金※3		14,388	15,632	8,959	8,857	8,857

※1 収入の部の「その他」の主なものは、預り金の受入、有価証券ならびに不動産の売却です。

※2 支出の部の「その他」の主なものは、預り金の払出、有価証券の購入です。

※3 「前月からの繰越金」及び「翌月への繰越金」には、満期日までの期間が1年を超える定期預金を含みます。

(2) 今後の資金計画（昭和61年1月から昭和61年6月まで）

（単位：百万円）

項目別	月 別	1 ～ 3 月	4 ～ 6 月	合 計
<u>収 入 の 部</u>				
	営 業 収 入	4 2,8 7 9	6 2,2 6 3	1 0 5,1 4 2
	借 入 金	2 4,5 0 5	1 3,3 2 5	3 7,8 3 0
	そ の 他	8,7 2 2	1 1,2 0 0	1 9,9 2 2
	合 計	7 6,1 0 6	8 6,7 8 8	1 6 2,8 9 4
<u>支 出 の 部</u>				
	原 材 料 費	1 4,6 5 0	1 3,7 5 0	2 8,4 0 0
	設 備 費	2,2 8 4	1,0 8 4	3,3 6 8
	人 件 費	3,2 6 0	5,4 5 0	8,7 1 0
	経 費	8,4 5 3	1 0,2 2 5	1 8,6 7 8
	支 払 利 息	6 6 2	2 9 1	9 5 3
	酒 税 及 び 物 品 税	1 8,9 0 1	2 3,8 1 8	4 2,7 1 9
	法 人 税 ・ 事 業 税 等	2,0 5 1	0	2,0 5 1
	配 当 金	4 0 6	1 5 2	5 5 8
	借 入 金 返 済	1 3,0 1 7	2 2,7 0 0	3 5,7 1 7
	社 債 償 還	2,0 4 0	0	2,0 4 0
	そ の 他	1 1,1 0 0	1 0,5 0 0	2 1,6 0 0
	合 計	7 6,8 2 4	8 7,9 7 0	1 6 4,7 9 4
	前 月 か ら の 繰 越 金	8,8 5 7	8,1 3 9	8,8 5 7
	翌 月 へ の 繰 越 金	8,1 3 9	6,9 5 7	6,9 5 7

4. そ の 他

特記事項はありません。

第 6 親会社及び子会社に関する事項

1. 親会社に関する事項

該当事項はありません。

2. 子会社に関する事項

(1) 連結子会社

名 称	住 所	資 本 金	事業の内容	議決権所有割合	関 係 内 容
ニッカ ウキスキー(株)	東京都港区	1,480百万円	ウィスキー等酒類 の製造・販売他	直接所有 72.02% 間接所有 0.45%	役員の兼任：1名 資金援助：長期資金の貸付 営業上の取引：当社輸入ワイン の販売 設備の賃貸借：ありません。
三ッ矢 フーズ(株)	東京都中央区	90百万円	各種飲料・食品の 製造・販売	直接所有 100%	役員の兼任：2名 資金援助：ありません。 営業上の取引：当社製造 飲料の販売 設備の賃貸借：事務所、倉庫 の賃貸
新日本硝子(株)	大阪府吹田市	300百万円	各種ガラスびんの 製造・販売	直接所有 100%	役員の兼任：2名 資金援助：長期資金の貸付 営業上の取引：当社使用びん の製造 設備の賃貸借：事務所、倉庫、 工場建物等の 賃貸

ニッカウキスキー(株)は、特定子会社に該当し、三ッ矢フーズ(株)ならびに新日本硝子(株)は特定子会社に該当しません。

(2) 非連結子会社

名 称	住 所	名 称	住 所
朝 日 共 栄 (株)	大阪府大阪市東区	(株) 千葉漢方医薬研究所	東京都中央区
(株) ニ ュ ー ア サ ヒ	東京都中央区	(株) サンライズ・エンタープライズ	大阪府大阪市東区
大 阪 朝 日 運 送 (株)	大阪府吹田市	(株) フ レ ス ガ ッ セ	東京都中央区
東 京 朝 日 運 送 (株)	東京都大田区	エイ・アンド・エスレストラン開発(株)	東京都中央区
名 古 屋 朝 日 運 送 (株)	愛知県名古屋市守山区	(株) マ ス ダ	大阪府大阪市平野区
九 州 朝 日 運 送 (株)	福岡県福岡市博多区	琉球ニッカウキスキー(株)	沖縄県那覇市
(株) ア サ ヒ セ ン タ ー	東京都大田区	百 華 興 業 (株)	東京都港区
日 本 麦 芽 工 業 (株)	滋賀県野洲郡野州町	北 海 興 業 (株)	北海道余市郡余市町
(株) ジャシ・インターナショナル・リカー	東京都港区	仙 台 興 業 (株)	宮城県宮城郡宮城町
(株) アサヒエンタープライズ	東京都墨田区	ニ ッ カ 興 産 (株)	東京都港区
ア サ ヒ フ ー ズ (株)	福岡県福岡市博多区	関 西 興 業 (株)	兵庫県西宮市
(株) サ ン シ ャ イ ン	兵庫県川西市	(株) う す け ぼ	東京都港区
エ ー ビ ー サ ー ビ ス (株)	東京都中央区	ニ ッ カ 製 樽 (株)	北海道余市郡余市町

上記子会社は特定子会社に該当しません。

3. 連結財務諸表に関する事項

連結財務諸表を提出します。

第 7 株 式 事 務 の 概 要

決 算 期	1 2 月 3 1 日		定 時 株 主 総 会	3 月 中
株 主 名 簿 閉 鎖 の 期 間	1 月 1 日 ～ 1 月 3 1 日		基 準 日	1 2 月 3 1 日
株 券 の 種 類	1 0 0 株 券 5 0 0 株 券 1,0 0 0 株 券 1 0,0 0 0 株 券 1 0 0,0 0 0 株 券 1 0 0 株 未 満 の 株 数 を 表 示 し た 株 券		中 間 配 当 基 準 日	6 月 3 0 日
			1 単 位 の 株 式 数	1,0 0 0 株
株 式 の 名 義 書 換	取 扱 場 所	東 京 都 千 代 田 区 丸 の 内 一 丁 目 4 番 3 号 東 洋 信 託 銀 行 株 式 会 社 証 券 代 行 部		
	代 理 人	東 京 都 千 代 田 区 丸 の 内 一 丁 目 4 番 3 号 東 洋 信 託 銀 行 株 式 会 社		
	取 次 所	東 洋 信 託 銀 行 株 式 会 社 各 支 店 野 村 証 券 株 式 会 社 本 店 及 び 各 支 店		
	名 義 書 換 手 数 料	無 料	新 券 交 付 手 数 料	新 券 1 枚 に 付 2 5 0 円 (但 し 併 合 の 場 合 無 料)
単 位 未 満 株 式 の 買 取	取 扱 場 所	東 京 都 千 代 田 区 丸 の 内 一 丁 目 4 番 3 号 東 洋 信 託 銀 行 株 式 会 社 証 券 代 行 部		
	代 理 人	東 京 都 千 代 田 区 丸 の 内 一 丁 目 4 番 3 号 東 洋 信 託 銀 行 株 式 会 社		
	取 次 所	東 洋 信 託 銀 行 株 式 会 社 各 支 店 野 村 証 券 株 式 会 社 本 店 及 び 各 支 店		
	買 取 手 数 料	証 券 取 引 所 の 定 め る 1 単 位 当 り の 売 買 委 託 手 数 料 を 買 取 株 式 数 で 按 分 し た 額		
公 告 掲 載 新 聞 名	東 京 都 に お い て 発 行 す る 日 本 経 済 新 聞			
株 主 に 対 す る 特 典	な し			